

特集 路線バスのこれからを考える

豊かな未来を運ぶバス

大正時代から、私たちの足となり、まちのにぎわいや人々のふれあいを生み出してきたバス。帯広の「未来」を乗せて、バスは今日も走り続ける。このまちを支え続ける路線バスの「今」と「これから」について考えます。

問い合わせ

商業まちづくり課
(市庁舎7階、☎65・4165)



バス乗車体験でワクワクいっぱいの子どもたち

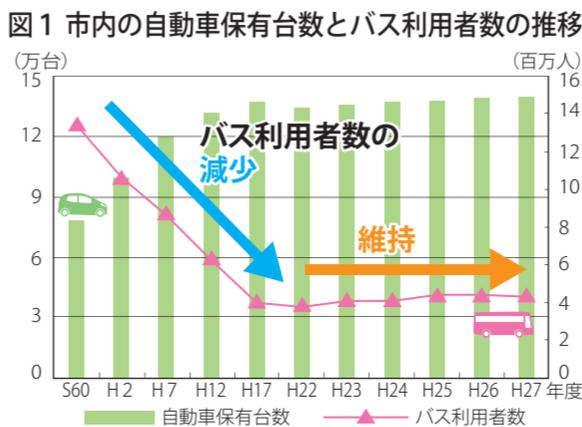
バス利用者の減少が続く中、市バス事業者などは、生活交通の確保や今後の住民ニーズに対応した総合的な対策に取り組むため、路線バスの維持や新しいバスサービスの展開などについて検討を行いました。

その中で、農村地区の予約制「乗り合いタクシー・バス」の運行を開始したり、全てのバス路線を網羅した「おびひろバスマップ」を作成したほか、バス事業者独自に、個別訪問によるバス利用のPRなどに取り組みました。これにより、帯広市内のバス利用者は

バス交通維持に向けた取り組み

昭和60年度には約1300万人いた帯広市内のバス利用者は、家用車の普及などによって利用者の減少が続き、平成22年度には約400万人まで減り、バス交通を经营的に維持していくことが、困難となる状況でした。(図1)

路線バスはなぜ必要？



路線バスや鉄道をはじめとする公共交通は、身体障害者や高齢者、学生など家用車を運転しない人にとって、日常生活を支える生活基盤であり、高齢化の進行などにより、誰もが利用できる公共交通が果たす役割は大きくなっています。また、地域住民はもちろん、外国人を含む観光客などにとって利用しやすい公共交通の整備は、地域の活性化に欠かせない要素の一つとなっています。

今号では、路線バスの現状と課題から、バス交通の必要性について考えていきます。

十勝のバス交通の現状

皆さんは普段、通勤・通学、買い物などの移動手段として路線バスを利用していますか。

現在、帯広市内では十勝バスと北海道拓殖バスの2社が、39路線1日当たり58便を運行しています。

(図1)

平成23年度には増加し、現在は440万人台を維持しています。

Public Information OBHIRO

おびひろ

平成29年 (2017年) 10
No.1121 October

発行: 帯広市
編集: 政策推進部広報広聴課
〒080-8670
帯広市西5条南7丁目1番地
電話(0155)24-4111
FAX(0155)23-0151
帯広市ホームページ
<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/>

データで知る帯広

8月末の人口と世帯数

人口 ▶ 167,640人 (前月比-5人)
男 ▶ 80,047人
女 ▶ 87,593人
世帯 ▶ 87,158世帯 (前月比+46世帯)

8月の火災発生件数

0件 (前月比-4件)

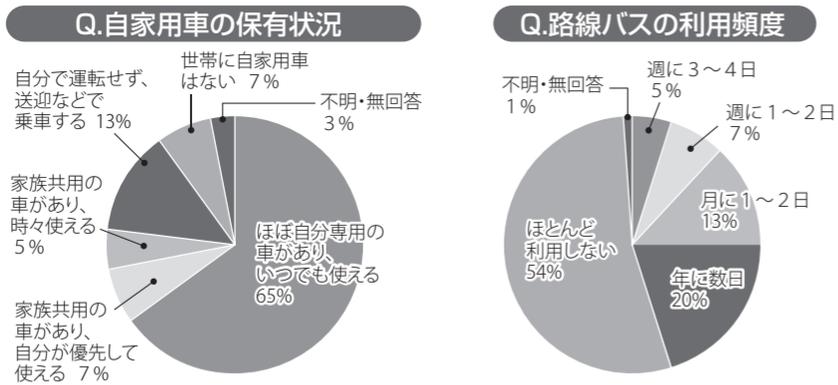
8月の家庭ごみ排出量

ごみ量 2,733t (前年同月比+159t)
資源ごみ(Sの日)量 658t (前年同月比-11t)

今月の紙面

- とちちばん馬まつり 9
- 人が鉄ソリを引いて競う「人間ばん馬大会」のほか、多彩な飲食ブースや催しを行います。
- 自宅などで受けられる医療「在宅医療」..... 7
- 保育所・幼稚園などの入所申し込み..... 8
- 10月は乳がん月間です 20

図2 市民アンケート結果



バスが果たす役割

バスには、学校や職場、買い物

バスを利用しない理由としては、路線が少ないことや、都合の良い時間に乗れない不便さ、乗り方が分からないなどの不安があるといった意見がありました。

バスが果たす役割はますます重要になってきます。今後、バス交通を維持して行くために、私たちはどんな事ができるでしょうか。

バス利用者の状況

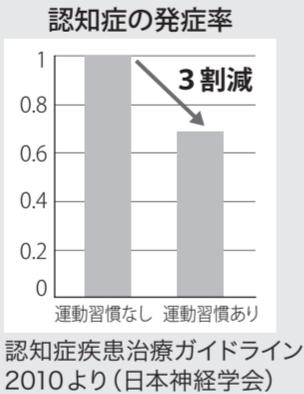
昨年10月、市民3000人（回答数1069人）を対象に、路線バスの利用に関するアンケートを行いました。これによると、自家用車を保有している世帯は全体の約9割、自分専用の車があっても、いつでも使える人が約7割を占めました。一方で、約7割の人が日常的にバスを利用していません。バスが果たす役割はますます重要になってきます。

高齢化が進み、自動車を運転しない高齢者が増えると、路線バスが果たす役割はますます重要になってきます。今後、バス交通を維持して行くために、私たちはどんな事ができるでしょうか。

バスを使うことによる利点

認知症予防につながる

運動する習慣のある人は、ない人に比べて認知症発症の危険度が3割ほど低いといわれています。バスを利用すると、停留所までの往復や目的地までの移動で、無理なく運動することができます。



車の維持費がかからない

1000CCの車を持っているだけで、保険・税金・駐車場代などで1日約2000円かかっているといわれています。普段あまり車に乗らない場合、車を手放して公共交通機関で移動した方が、かかるお金は少なくなります。



事故に遭う危険度が下がる

年齢を重ねると、気付かないうちにとっさの判断が遅れたり、ちょっとした勘違いが多くなります。自動車運転者の年齢層別の死亡事故件数でも、年齢が上がるにつれて増加しています。



教えて！運転手さん 新人広報スタッフが聞いてみました

高校時代はずっと自転車通学で、バスでの移動は不慣れですが、運転手さんに、乗り方のコツを教わりたいと思います！



目的地に行くためのバスや、最寄りの停留所を簡単に調べられますか？

パソコン、スマートフォンで調べることができる「もくいく」が便利です。近くのバス停を検索し、目的地を入れれば、どの系統に乗れば良いかや、発着時間を調べることができます。



バスが来るまで、あとどれくらい待てばいいかわかると便利なのですが。

スマートフォンアプリ「PINA」を使用すると、乗車予定のバスが現在どの地点にいるかと、乗車予定のバス停への到着時間が確認できます。



ペットと一緒にバスに乗ることはできますか？

ペットは、ふたが閉まり完全に収納できる専用ケースなどに入っていれば、車内へ連れて乗れますよ。



バスの乗り方

普段乗らないと、意外と知らないバスの乗り方を紹介します。

- ①目的地の系統をバスの先頭にある方向幕で確認し、乗車してください。行き先がよく分からないときは乗務員にお尋ねください。
- ②乗車口の右横にある整理券を取ってください。整理券を忘れずに
- ③目的地の停留所がアナウンスされたら、降車ボタンを押してください。
- ④前方の運賃表で金額を確認し、バスから降りる際に、整理券と現金を入れてください。

【ご案内】11月頃より、十勝バスが運行する畜大線や北海道拓殖バスが運行する一中・療養所線、運転免許試験場線（柏林台）などの路線の一部またはダイヤが変更となります。日程・詳細などについては、10月以降にバス車内などに掲示します。

バス利用で心にゆとり 趣味の幅も広がる

自分に合った趣味を見つけようと市の講座を探し、高齢者いきいきふれあい館「まちなか」で無料で実施している「脳が喜ぶ！心が笑う！臨床美術」に興味を引かれ、参加しています。

普段は自家用車を運転しますが、「まちなか」には駐車場がないため、「高齢者バス無料乗車証」を利用して通っています。

バスを利用して感じてきたことは、車は運転に集中しなければなりません、バスは乗っているだけで目的地まで安全に移動ができ、とても気持ちが楽なことです。

バスの利用で趣味の幅も広がり、知り合った友達と、笑いながら過ごす時間を楽しんでいます。

高齢者いきいきふれあい館「まちなか」(西2南7、帯広信金第3ビル、☎67-6799)



高齢者いきいきふれあい館「まちなか」利用者
木村 美代子さん(70代)



まちなかでの講座の様子

あいのりタクシー・バス

○出発時間の45分前までに運行会社に電話で予約
＜問い合わせ・予約先＞
あいのりタクシー：大正交通(☎0800・800・5551)
あいのりバス：毎日交通(☎0120・999・094)
※前日までに予約が必要となる便があります。

○運賃はお住まいの地区により異なります

- ・中学生以上は大人運賃
- ・回数券、通学定期券の販売あり
- ・高齢者バス無料乗車証の使用可
- ・療育/身体障害者/精神障害者手帳を持つ人は半額

市内中心部と、川西・大正地区をつなぐ公共交通として、乗り合いで移動する予約制の「あいのりタクシー」(大正地区内く市中心部)と、「あいのりバス」(川西地区く市中心部)を運行しています。詳細は各運行会社に問い合わせください。

大正地区「あいのりタクシー」 川西地区「あいのりバス」

お問い合わせ・交付窓口 高齢者福祉課(市庁舎2階、☎65・4145)、平日、9時30分～16時30分
交付料 500円(交付時に窓口)

高齢者の皆さんの、健康と生きがいづくりを支援するため、満70歳以上の市民を対象に「高齢者バス無料乗車証」を発行しています。乗降地のいずれかが帯広市内であれば、市内分の運賃が無料になります。

申請方法 本人確認書類(保険証など)と印鑑を持って、交付窓口へ。交付窓口で顔写真を撮影するので、必ず申請者本人がお越しください。

バスを使って元気におでかけ(高齢者おでかけサポートバス事業)

高齢者の皆さんの、健康と生きがいづくりを支援するため、満70歳以上の市民を対象に「高齢者バス無料乗車証」を発行しています。乗降地のいずれかが帯広市内であれば、市内分の運賃が無料になります。

高齢者向けの講座では、環境と公共交通について学ぶほか、自動車の年齢別事故率や二酸化炭素排出量、健康に関する情報提供を通じて、過度に自動車を利用せず、徒歩やバスといった移動手段の利用を呼び掛けている。



バスの乗車体験にドキドキ

高学年は、運輸と地球温暖化の関係や環境に優しい公共交通、使用済みてんぷら油を燃料に再生するBDFについて学びます。また、BDFで走るバスに乗車し、バスの乗り方や降り方を実車で学びながら、環境とバスに対する興味や関心を高めています。

市では、市民の意識を「過度に自動車に頼る状態」から「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に利用する状態」へと少しずつ変えていくモビリティ・マネジメントの取り組みを進めています。これまで、バス事業者、バイオディーゼル燃料(BDF)製造業者、帯広運輸支局と連携し、市内小学校や帯広市高齢者学級などで出前講座を開催しています。

小学生向けの出前講座では、低学年は紙芝居や「交通すごろく」などを使って、楽しみながらバスの乗り方やマナーを学びます。中・高学年は、運輸と地球温暖化の関係や環境に優しい公共交通、使用済みてんぷら油を燃料に再生するBDFについて学びます。また、BDFで走るバスに乗車し、バスの乗り方や降り方を実車で学びながら、環境とバスに対する興味や関心を高めています。

モビリティ・マネジメント

市では、市民の意識を「過度に自動車に頼る状態」から「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に利用する状態」へと少しずつ変えていくモビリティ・マネジメントの取り組みを進めています。これまで、バス事業者、バイオディーゼル燃料(BDF)製造業者、帯広運輸支局と連携し、市内小学校や帯広市高齢者学級などで出前講座を開催しています。

モビリティ・マネジメント

市では、市民の意識を「過度に自動車に頼る状態」から「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に利用する状態」へと少しずつ変えていくモビリティ・マネジメントの取り組みを進めています。これまで、バス事業者、バイオディーゼル燃料(BDF)製造業者、帯広運輸支局と連携し、市内小学校や帯広市高齢者学級などで出前講座を開催しています。

私たちとまちの未来を支える大切な存在「路線バス」

路線バスは、私たちの足となり、人々の生きがいを支え、まちの元気を生み出す大切な存在です。

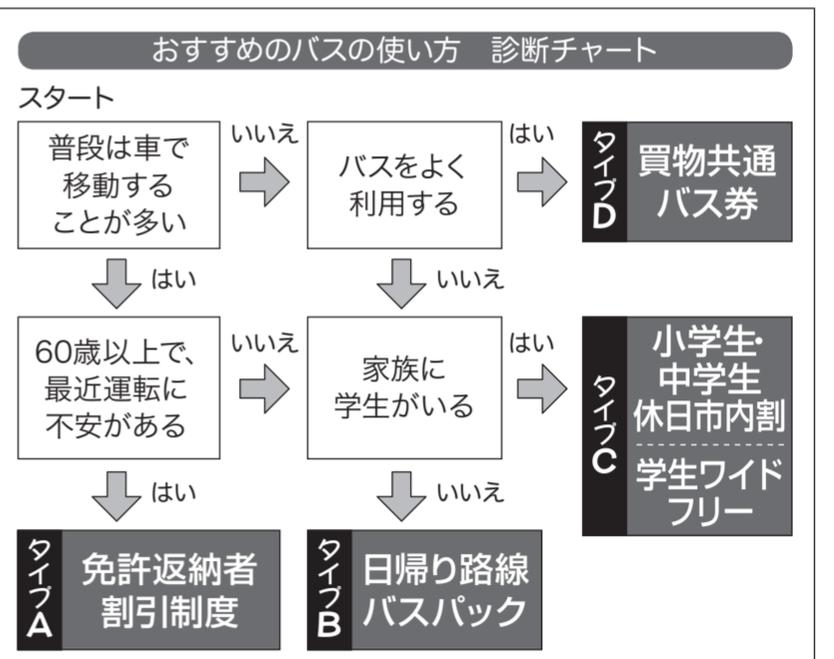
5年後、10年後の私たち自身の移動手段や暮らし方、この地域の

バス事業者がおすすめする！
お得なバスの使い方

お得なバスプランがいろいろあるので、ぜひタイプに併せて利用してみてください！

詳細は、帯広駅バスターミナル(☎23・5171)か、十勝バス(☎37・6500)、北海道拓殖バス(☎31・8811)へ問い合わせください。

十勝バス 検索 北海道拓殖バス 検索



タイプA ⇒ 60歳以上のドライバーの皆さんには…
免許返納者割引制度

運転免許証を自主返納した人は、バス運賃が半額になります。高齢者の交通事故が増えて、運転に不安を感じている人には、お得で安全ですよ。

タイプC ⇒ 休日にバスでお出掛けしたい学生さんには…
小学生・中学生休日市内割/学生ワイドフリー

休日、帯広市内であれば小学生は100円、中学生は200円で乗車できます。また、通学定期券を使っている人は市内区域内乗り放題となる定期券があるので、学生で家と学校以外の移動が必要な人にはお得です。

タイプB ⇒ ガーデンや温泉巡りをしたい人には…
日帰り路線バスパック

たまには車を運転せず、十勝をゆっくり観光してみたいいかがですか。施設利用券とバス往復乗車券がセットになった十勝を堪能できるバスパックです。花やガーデンが好きな人、温泉を満喫したい人など7種類のパックがあります。

タイプD ⇒ バスをよく利用する人には…
買物共通バス券

まちなかで買い物を楽しみませんか。帯広市商店街振興組合の参加店で2000円以上の買い物をすると、100円の「買物共通バス券」がもらえ、大変お得ですよ。

未来を考えたとき、路線バスが私たちの暮らしを支える存在として在り続けるために、私たちみんなが路線バスを利用し、バス交通を守る必要があります。

自動車はとても便利ですが、たまには、運転を気にせず、周りの景色や読書を楽しみながら、バス

ならではの安全性や利便さを感じてみてはいかがでしょう。今までの時間や楽しみ、これまでとはひと味違う、十勝・帯広の良さが見えてくるかもしれません。

ぜひ、これを機に、私たちの豊かな未来を運ぶ「路線バス」をご利用ください。



市の決算と財政状況

平成28年度の各会計決算と主な取り組み

決算は9月12日から開催の定例市議会にて審議されています。

水道事業会計と下水道事業会計の平成28年度決算は6頁でお知らせします。

問い合わせ 財政課（市庁舎5階、☎65・4106）

一般会計の収支

歳入の状況

平成28年度の決算額は、歳入が823億6662万円、歳出が819億8428万円、差引額が3億8234万円でした。（図1）

この差引額には、平成28年度中に事業が完了しなかったため、平成29年度に繰り越した事業の財源1526万円も含むことから、これを除いた実質的な黒字額は3億6708万円でした。（表1）

歳入の状況

昨年度に比べて、市税が約2億2000万円、国庫支出金が約4億1000万円、除雪費用や災害復旧に要する費用の財源とするための基金の取り崩しなどで繰入金（図1では「その他」に含む）が約5億4000万円増加しました。

歳出の状況

昨年度に比べて、民生費が約17億8000万円、市債の返還などに充てる公債費で約4億1000万円増加しました。また、一連の台風により被害を受けた農地や公共施設などの復旧・修復に係る事業費の増加により、災害復旧費が約1億7566万円（皆増）増加しました。

図1 一般会計の歳入・歳出



※[]は前年比

※歳出の各項目には、関係する職員の給与費を含めています。

表1 一般会計と特別会計の決算

会計区分	歳入	歳出	翌年度繰越事業財源	実質収支
一般会計	823億6662万円	819億8428万円	1526万円	3億6708万円
特別会計				
国民健康保険会計	206億7477万円	204億890万円	-	2億6587万円
後期高齢者医療会計	21億2676万円	20億4933万円	-	7743万円
介護保険会計	134億9264万円	131億6997万円	-	3億2267万円
中島霊園事業会計	6156万円	6156万円	-	-
簡易水道事業会計	8150万円	8150万円	-	-
農村下水道事業会計	1億3401万円	1億3401万円	-	-
ばんえい競馬会計	169億9273万円	169億2395万円	-	6878万円
駐車場事業会計	1億215万円	1億215万円	-	-
空港事業会計	11億4154万円	11億4154万円	-	-
合計	1371億7428万円	1360億5719万円	1526万円	11億183万円

図2 実質公債費比率の推移

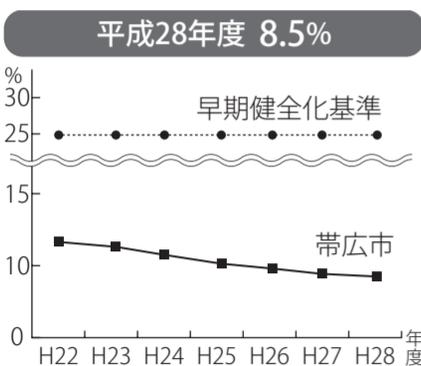
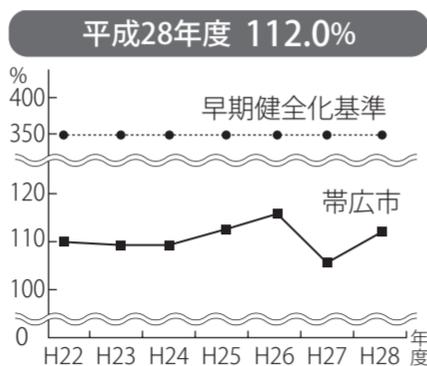


図3 将来負担比率の推移



帯広市の財政状況

自治体の財政状況を比較する資料に、健全化判断比率と財務諸表があります。

健全化判断比率が示す財政の健全さ

自治体全体の財政状況を把握し明らかにするため、財政健全化法による四つの指標の公表が各自治体に義務付けられています。

実質赤字比率と連結実質赤字比率

普通会計※1の実質的な赤字額が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標が「実質赤字比率」です。これに、特別会計や企業会計も含めた指標が「連結実質赤字比率」です。いずれの指標も、平成28年度は黒字決算のため、実質赤字比率は算出されません。

実質公債費比率と将来負担比率

「実質公債費比率」は、一般会計などが負担する長期の借入金の返済や、それに準ずる支出が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標です（過去3カ年平均）。家計に例えると、住宅ローンなどの返済額の合計が年収に占める割合になります。（図2）

「将来負担比率」は、一般会計などが抱える実質的な負債の残高が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標です。家計に例えると、住宅ローンなどの借入金の残高が、現在の年収の何パーセントになるのかを示す割合になります。（図3）

これからの帯広市の財政

帯広市の財政は、健全化判断比率などから見て、健全な状況を維持しています。

しかし、高齢化の進行などに伴う社会保障費の増加や、公共施設の老朽化に対する対応が必要となってきた一方、国からの交付税などは減少していることから、今後も厳しい財政運営が続くことが予想されます。

こうしたことを踏まえ、限られた財源の中で、事業の選択と集中を図りながら、市民の皆さんにとって、希望の未来につながっていくよう、「フードバレーとかち」をはじめとする各種施策の推進に取り組んでいきます。

※1 普通会計 全国の自治体の財政状況を比較するための会計基準。市では一般会計に中島霊園事業会計と空港事業会計を加えたもの。 ※2 早期健全化基準 財政破綻を防止するために設けられた危険水準を表す。四つの健全化判断比率のうち一つでも基準値を上回ると、財政の健全化に取り組む必要がある。

平成28年度 主な事業と決算額

平成28年度に実施した主な事業の一部を「第六期総合計画」の体系に基づき紹介します。

安全に暮らせるまち

- 地域防災力の強化に向けた取り組み（地域防災訓練の実施、備蓄食料の更新など）【1935万円】
- 明星橋の復旧に向けた実施設計、撤去工事【5496万円】
- 川西支所、川西第一分団詰所を併設した川西合同庁舎の耐震診断【192万円】
- 「とちかち広域消防局」の運用開始【16億2130万円】



十勝全域を管轄する「とちかち広域消防局」

健康でやすらぐまち

- 日本脳炎やB型肝炎の定期予防接種化【6489万円】
- 地域の精神医療を担う公的病院の運営に対する支援【9744万円】
- 高齢者いきいきふれあい館「まちなか」開設に対する支援【216万円】
- 小規模特別養護老人ホームの整備などに対する補助【4億2450万円】
- 手話言語条例の制定を記念した講演会の開催など【245万円】
- 第2緑ヶ丘児童保育センターの建設【1億2040万円】

活力あふれるまち

- ^{パレイショ}馬鈴薯集出荷施設の整備などに対する補助【2億9890万円】
- 農業用GPS基地局の整備に対する補助【447万円】
- ICT農業の推進などに対する資金貸付制度の充実【1億4061万円】
- 十勝型GAP^{※3}の導入促進【400万円】
- 中小企業のHACCP^{※4}導入事例集の発行【124万円】
- 十勝・イノベーション・エコシステムの推進（産官学金が連携した創業・起業支援システムの構築）【7039万円】

- 十勝らしい体験・滞在型観光の推進（十勝のアウトドアブランド化に向けた調査、十勝アウトドアDMO^{※5}の設立準備）【3881万円】
- 釧路市・網走市と連携した観光プロモーションの実施【600万円】
- 「フードバレー」を通じた道外地域とのイベント交流【40万円】



フードバレー交流都市・熊本市「くまモン」と交流

自然と共生するまち

- 新たな省エネ機器（HEMS^{※6}）導入に対する補助【72万円】
- PM2.5（微小粒子状物質）の測定【28万円】
- 家庭から出る剪定枝^{せんていし}の無料受け入れ【23万円】
- 簡易水道や農村下水道の中長期的な施設更新計画の策定【1523万円】
- 浸水リスクの把握を目的としたシミュレーションの実施【2047万円】

生涯にわたる学びのまち

- 学校トイレの洋式化を推進【1444万円】
- 地域ぐるみで子どもを応援する活動を支援する「こども学校応援地域基金」の創設【1115万円】
- 視覚に障害のある人にデジタル録音図書の貸し出しを開始【129万円】
- 動物展示施設の整備や動物購入などを目的とした「おびひろ動物園ゆめ基金」の創設【213万円】
- 2017冬季アジア札幌大会の開催（帯広市ではスピードスケート競技開催）【8992万円】
- 新しい総合体育館の建設に向けた用地の取得や、PFI^{※7}方式による事業者の公募、選定など【2578万円】

自立と協働のまち

- スマートフォンなどによる閲覧に最適化した市ホームページのトップページを追加【35万円】
- 「帯広市公共施設マネジメント計画」の策定【653万円】
- 社会保障・税番号制度の運用に伴う対応【9947万円】
- おびひろ応援寄附金寄附環境の充実【8万円】

快適で住みよいまち

- 帯広市空家等対策計画の策定など【239万円】
- 公営住宅の整備【3億332万円】
- 道内空港の一括民間委託に係る検討および準備作業【5847万円】
- 空港機能の強化を目的としたターミナルビル増築に対する支援【5億250万円】
- 空港エプロン（駐機場）拡張に向けた実施設計【2559万円】



とちかち帯広空港の新旅客ターミナルビルが完成



思いやりとふれあいのまち

- 清流の里福祉センターの建設【1億1626万円】
- 鉄南コミュニティセンターの耐震補強【2894万円】
- 大分市との姉妹都市締結50周年を記念した訪問団の相互交流【129万円】
- 米国マディソン市との姉妹都市締結10周年を記念した訪問団の相互交流など【643万円】



大分市の郷土料理を教わりました

用語解説

- ※3 ^{ギャップ}GAP …… 農業生産工程の正確な実施、記録、点検、評価などを行うことによる持続的な改善活動
- ※4 ^{ハサップ}HACCP …… 食品を製造する際に潜む危険を科学的に記録、分析した上で、安全管理基準を高める衛生管理の手法
- ※5 ^{DMO}DMO …… 観光を核とする地域づくりのかじ取り役を担う組織
- ※6 ^{ヘムス}HEMS …… 家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム
- ※7 ^{PFI}PFI …… 公共施設などの建設、維持管理、運営などを民間の資金と能力を活用して行う手法



帯広市上下水道部キャラクター
ミナモくん

平成28年度 水道・下水道事業会計の決算

災害に強く、いつでも安全に、安心して利用できる上下水道を目指して

決算は9月12日から開催の定例会市議会で審議されています。

問い合わせ 上下水道部総務課（市庁舎水道棟2階、☎65・4212）

水道事業会計の決算

おいしい水道水を作り
確実に届ける

収益的収支における収入は44億7095万円（前年度比0・9%増）、支出は37億5413万円（同

0・8%増）で、家庭などからの

水道料金収入が増加した一方で、

借入金利息が減少したことなどに

より、収益的収支は7億1682万円（同0・9%増）の純利益となりました。この純利益は今後の借入金の元金返済などに使用する予定です。



水のおいしさをPR
おびひろ極上水 検索

水道施設や水道管を整備する

資本的収支における収入は13億919万円（同17%減）、支出は33億3317万円（同3・1%減）で、収入の不足は収益的収支の減価償却費^{※1}などで補填しました。

下水道事業会計の決算

汚れた水を集めてきれいにする

収益的収支における収入は

49億8070万円（前年度比4・5%減）、支出は44億6207万

円（同4・7%減）で、その他の収入に含まれる減価償却に伴う負担

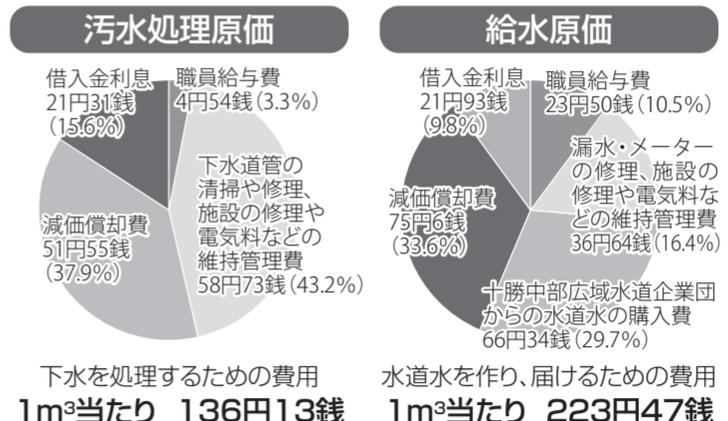
金が減少したことなどにより、収益的収支は5億1863万円（同

3・6%減）の純利益となりました。

終末処理場や下水道管を整備する

資本的収支における収入は12億8157万円（同4・3%減）、支出は30億2109万円（同1・3%減）で、収入の不足は収益的収支の減価償却費などで補填しました。

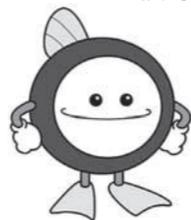
水道・下水道事業の費用の内訳



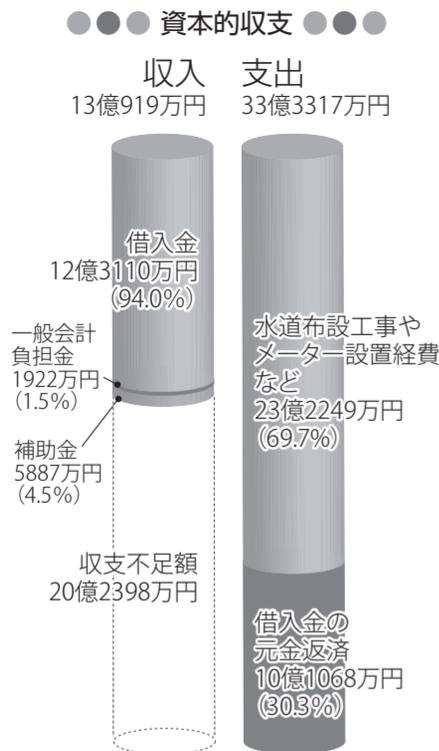
これからの帯広市 水道・下水道

平成28年度の決算は、水道、下水道事業ともに純利益を計上するなど、健全な状況を維持できました。しかし、今後は人口が減少し使用量が減少する一方、多くの老朽化した施設の更新が必要となります。

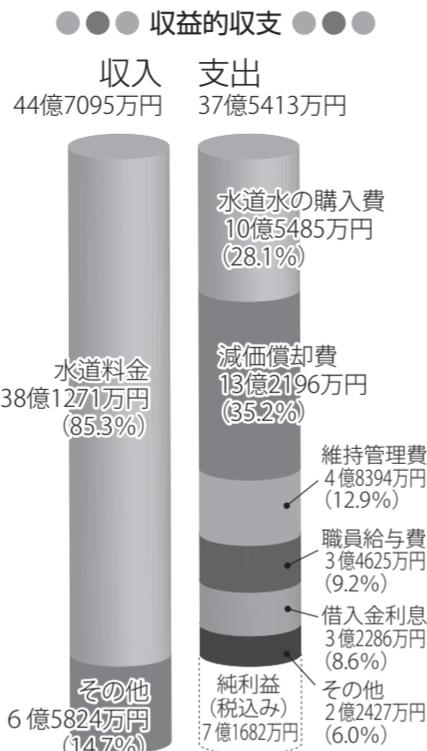
今後も健全な企業経営のもと、生活に必要な不可欠な上下水道サービスを提供し続けるため、中長期的な視点に立ったインフラ基本計画に基づき、計画的な施設の更新や、災害に強い施設づくりなどを進めていきます。



水道施設の建設や水道管を整備、更新するための収入と支出



水道水を作り、届けるための収入と支出

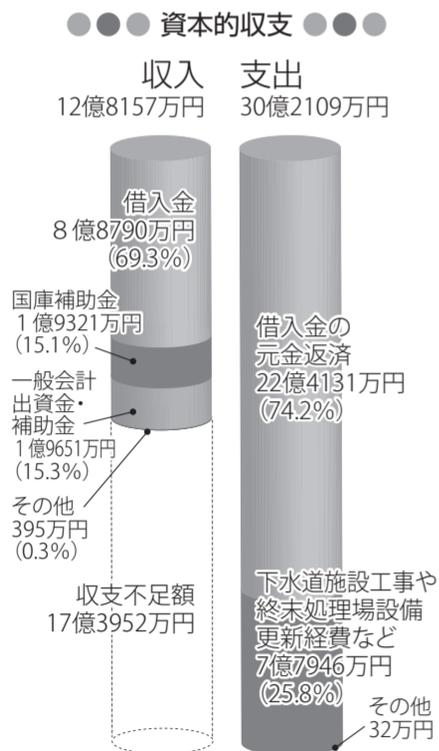


稲田浄水場設備機器の更新

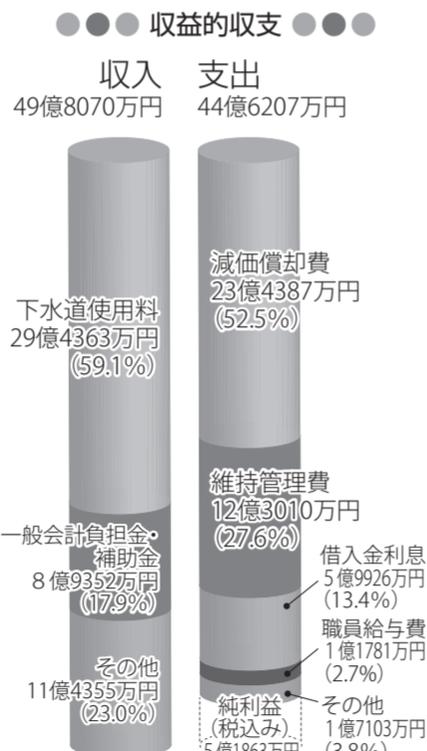
水道事業の主な取り組み

▼上下水道部の在職経験がある退職者の協力により災害時の体制強化を図る制度の創設▼新たな水道管の整備や老朽化した水道管の更新▼中長期的な財政状況を考慮したインフラ基本計画^{※2}の策定▼稲田浄水場設備機器の更新(平成27～29年度)▼中島配水区の水道管の整備

終末処理場の建設や下水道管を整備、更新するための収入と支出



汚れた水を集めてきれいにするための収入と支出



雨水管の整備

下水道事業の主な取り組み

▼新たな下水道管の整備や老朽化した下水道管の更新▼局地的な豪雨発生時の浸水状況の広がり方を解析する浸水シミュレーション▼中長期的な財政状況などを考慮したインフラ基本計画の策定▼帯広川下水終末処理場の更新

※1 減価償却費 施設が古くなり価値が減った分を費用として換算したもので、収支に反映されます。この費用は現金の支出を伴わず、新しい施設を作るときの財源に位置付けられています。 ※2 インフラ基本計画 施設の維持管理・更新などの中長期的な取り組みの方向性を明らかにする計画です。

自宅などで受けられる医療 「在宅医療」

自分らしい暮らしをするために

治る見込みがない病気になった時や介護が必要となった時、今後をどう過ごしたいですか。多くの人が病院で最期の時を迎える中、自宅などで「在宅医療」を利用して過ごすことを選択する人が少しずつ増えています。

問い合わせ 健康推進課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9721）

誰もが向き合わなければならぬ高齢化

日本の総人口が減少する中、65歳以上の人口の割合は上昇を続けています。2025年には、3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上の高齢者になり、加齢に伴って複数の疾病を抱えたり、医療と介護の両方を必要とする人が増えることが想定されます。

最期の時をどこで過ごすか

「万が一、治る見込みがない病気になったら、最期をどこで迎えますか」という質問に対し、全国的な調査では約5割の人は「自宅」と回答しました。

自宅などで「在宅医療」を利用する

利用しました。（図1）

在宅医療とは、自宅などの生活の場に医師や看護師が訪問して、診療、処置などを行うものです。必要に応じて薬の確認や介護保険サービスの調整など、地域の医療・介護の専門職と連携します。（図2）

一方、市が行った市民への聞き取り調査では、「自宅」と回答した人は約3割で、「医療機関」と回答した人の方が多い結果とな

りました。（図1）在宅医療は、自宅や施設などで過ごしている、通院が難しい人が

図1 「最期をどこで迎えたいですか」に対する回答

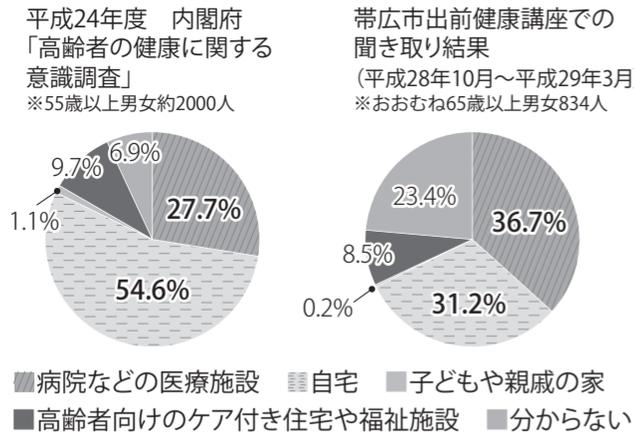
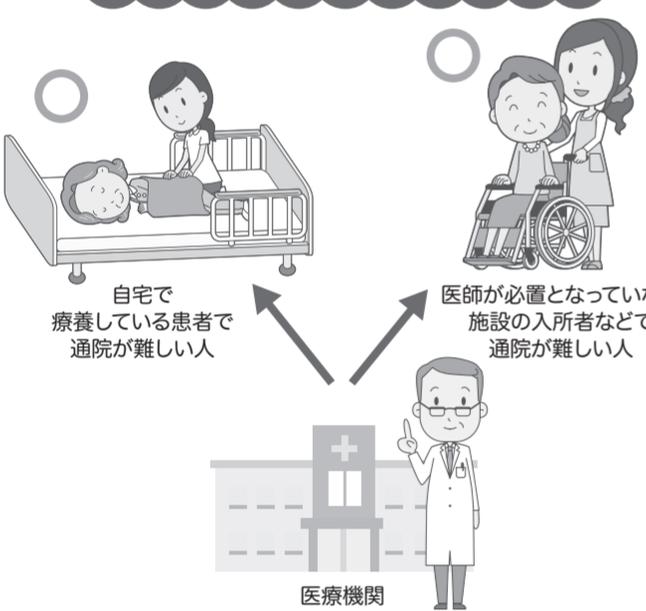


図2 在宅医療に関わる職種



図3 在宅医療はどんな人が対象なの？



切れ目なく支援する仕組みづくり

医療と介護 連携の課題

帯広市では、主に在宅で療養する患者を支援する「在宅療養支援診療所」の数が、全国平均より少ない現状があります（図4）。また、病院から距離が離れていて、訪問診療や往診に対応できない場合もあり（医師による訪問診療・往診可能な距離は原則片道16キロ以内）、在宅医療を望む全ての人へ医療サービスを届けられていない可能性があります。

正しく理解し、思いを伝える

在宅医療は、皆さんの正しい理解がとて大切ですが、市では、在宅医療の現状や今後の見通しをお知らせし、その上で「自分らしい最期」について皆さんが考える機会を持つよう取り組みを進めています。「時々入院してもいいけれど、最期まで自宅で過ごしたい」というように思いを伝えることができる人が一人でも増えるよう、一緒に考えましょう。



在宅医療・介護ネットワーク会議の様子

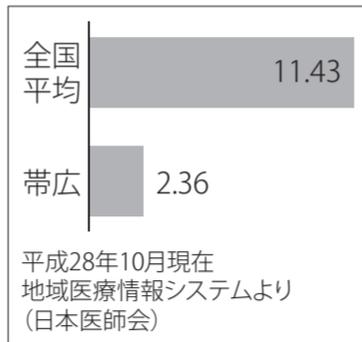
「最期の過ごし方」について一緒に考えませんか

町内会などの地域の集まりに職員が出向いて、市の高齢化の現状や在宅医療の制度について紹介し、一人ひとりが望む「最期の過ごし方」を考えるきっかけづくりをお手伝いします。

開催希望日の30日前までに、健康推進課に相談してください。費用は無料ですが、会場は申込者が用意してください。



図4 在宅療養支援診療所（人口10万人当たりの施設数）





保育所・幼稚園などの 入所申し込み

平成30年4月からの入所申し込みの受け付けが始まります

入所案内については、保育所(園)は10月2日(月)から、児童保育センターは9月25日(月)から配布します。入所案内を必ず確認して申し込みください。

問い合わせ ともも課(市庁舎3階、☎65・4158)

保育所(園)や児童保育センターは、保護者が仕事や病気、出産などで、家庭で子どもを保育できないときに、代わって保育をします。

保育所(園)【表1】

平成30年4月からの新規入所の申し込みを受け付けます。受け付けは、施設ごとの受付日に行うので、入所案内を必ず確認してください。

対象

生後57日目〜就学前の幼児(0歳児は乳児保育実施保育所(園)のみ)

受付日時

第1希望の保育所(園)の受付日の9時〜17時(各保育所(園)の受付日は、入所案内で確認してください)

へき地保育所【表2】

対象 へき地保育所がある地域に在住の満1歳〜就学前の幼児

受付期間 10月2日(月)〜27日(金)(日曜日・祝日を除く)の13時〜

児童保育センター(学童保育)【表3】

対象 小学生

幼稚園・認定こども園【表4】

詳細は各幼稚園などで配布している入園案内をご覧ください。入園の受け付けは、11月1日(水)に各幼稚園などで行います。

※認定こども園は、幼稚園と保育所の機能を併せ持った施設です。

表1 保育所(園) (50音順)

区分	保育所(園)名	乳	住所	電話
公	青葉保育所	○	西3南25-16	22・3453
私	あけぼの保育園	○	西25南1-14	37・3200
私	あじさい保育園	○	東9南19-1	25・4510
公	あやめ保育所 ^{*1}	○	西17南3-39	35・3527
私	稲田保育園	○	西15南40-2	48・2206
私	おひさま保育園	○	東1南23-2	24・1078
公	帯広保育所	○	東3南11-13	23・5429
私	帯広南町保育園	○	南の森東2-8	48・6171
私	こでまり保育園	○	西14北2-1	38・2324
私	栄保育園	○	西17北2-30	34・5238
私	さくら保育園	○	公園東町4-7	22・1881
公	すずらん保育所	○	柏林台西町5-1	36・2389
私	つばさ保育所	○	西22南3-13	33・6111
私	鉄南保育園	○	西9南14-2	24・5059
私	ときわの森保育所	○	西16南5-22	35・4292
公	日赤東保育所	○	東10南8-1	23・7415
公	ひばり保育所 ^{*2}	○	西8北5-6	24・2763
私	藤花保育園	○	西6南2-11	24・6702
公	豊成保育所	○	清流東1-7	48・6630
公	松葉保育所		西23南1-129	37・5841
公	緑ヶ丘保育所		緑ヶ丘東通東27	24・4449
私	みのり保育園	○	西22南4-11	33・7360
私	森の子保育園	○	大空町1-12	47・6670
私	やまびこ保育所	○	西19南4-32	33・9290
公	依田保育所		依田町5-4	25・1002
私	012青い鳥保育園 ^{*3}	○	西20南5-7	41・5415
私	ひなたぼっこ保育園 ^{*3}	○	西15北2-1	67・6881

公:公立保育所 私:私立保育所(園) 乳:乳児保育
 ※1 平成30年4月から、民間に移管します。
 ※2 平成31年4月から、民間移管を予定しています。
 ※3 0〜2歳児のみ

表2 へき地保育所

保育所名	住所	電話
川西保育所	川西町西2線59	59・2756
富士保育所	富士町西3線53	64・5877
清川保育所	清川町西2線125	60・2029
広野保育所	広野町西3線149	60・2612
ことぶき保育所	昭和町東1線108	64・5253
愛国保育所	愛国町基線37	64・4330

表4 幼稚園・認定こども園 幼:幼稚園 認:認定こども園

区分	園名	住所	電話
認	帯広の森幼稚園	南町南8線46	48・8528
認	つつじが丘幼稚園	西25南3-9	37・4000
幼	第一いずみ幼稚園	東10南13-1	22・6818
幼	帯西幼稚園	西22南4-26	33・7628
認	帯広ひまわり幼稚園	西12南30-1	48・5151
認	帯広第二ひまわり幼稚園	西15南41-11	48・1356
幼	帯広わかば幼稚園	西17南5-30	34・6606
幼	帯広幼稚園	西21南3-22	35・7122
幼	帯広聖公会幼稚園	西8南12-3	24・3771
幼	つくし幼稚園	西16南28-3	48・3663
幼	柏林台カトリック幼稚園	柏林台中町1-6	34・4557
幼	帯広藤幼稚園	東4南14-1	23・3604
幼	帯広東幼稚園	東3南7-1	26・1570

表3 児童保育センター(学童保育)

センター名	住所	電話	センター名	住所	電話
東	依田町1-1	23・9373	若葉	若葉小学校内	36・2259
柏	東7南9-1	22・6373	若葉分室	わかば幼稚園内	34・9800
柏分室	柏小学校内	080・8291・3195	広陽	西19南3-20	33・5235
光南	東7南21-1	25・3837	広陽分室	広陽小学校内	
光南分室	光南小学校内	080・8299・1570	明和	西19南4-34	33・4640
青葉	西3南24-2	22・6372	明和分室	明和小学校内	
青葉分室	西6南22-1	23・3617	西	西23南1-125	37・2755
北栄	西11南2-11	36・3673	開西	西22南3-14	34・3505
北栄分室	北栄小学校内		森の里	西22南4-12	35・1499
栄	西17北1-44	34・9131	つつじが丘	西24南3-40	37・5040
栄分室	栄小学校内		豊成	清流西1-1	48・3622
啓親	西14北7-4	35・6854	豊成分室	豊成小学校内	080・3233・6056
啓親分室	啓北小学校内		大空	大空小学校内	47・0411
中央	西7南12-11	22・8539	稲田	西15南36-1	48・9584
花園	公園東町3-8	27・2502	稲田分室	第二ひまわり幼稚園内	48・1360
緑ヶ丘	西14南17-1	23・4923	大正	大正小学校内	64・2121
第2緑ヶ丘	西14南16-2	21・8660	川西	川西小学校内	59・2130
柏林台	柏林台南町6-1	33・1153	広野	広野小学校内	60・2202
柏林台分室	啓西小学校内	090・2872・9617	愛国	愛国町基線23-2	64・4580
			清川	清川町西2線128	60・2890

申込受付日に申し込みができないときは

へき地保育所を除く保育所は、11月17日(金)〜30日(休)の間に、①こども課と、②すずらん保育所で申し込みできます。

場所・時間 ①こども課(祝日を除く月〜土曜日、8時45分〜17時30分)、②すずらん保育所(平日、9時〜17時)

夜間の保育.....
 すいせい保育所・児童保育センターでは、14時〜翌日1時まで保育しています。
対象...生後57日目〜小学生
申込受付...詳細を入所案内で確認して、すいせい保育所・児童保育センター(西2南6、☎22・3241)へ。



ばんえい本走路で世界一を争う「人間ばん馬」



多彩な飲食ブースが並ぶピさんこダイニング



とがちばん馬まつり

帯広競馬場で行う一大イベント

人が鉄ソリを引いて競う「人間ばん馬大会」のほか、多彩な飲食ブースや催しを行います。

問い合わせ 帯広商工会議所青年部(西3南9、帯広経済センタービル内、☎25・7121)、ばんえい振興室(西13南9、帯広競馬場内、☎34・0825)

地域資源である「ばん馬」の文化を大勢の人に知ってもらい、全国に広めようと、地域の経済人などが中心になって帯広競馬場で開催される「とがちばん馬まつり」。

今年で11回目を迎えた、毎年2万5000人余りが来場するビッグイベントです。

家族で楽しい「こども縁日」

射的、千本釣り、輪投げ、くじ引きなどが楽しめます。なお、景品がなくなり次第終了します。

日時 両日10時〜17時

食のイベント「どさんこダイニング」

競馬場スタンド南側に、約30店の飲食・物産ブースが並びます。

日時 両日10時〜17時

ばん馬を見て触って学ぶ

大人気のばん馬「ミルキー号」と「キング号」の背中に乗って、記念撮影が行えます。この他、馬のひづめを守る蹄鉄の装蹄実演や、専門家による馬の体の仕組み講座を行います。

ばん馬との触れ合い

日時 両日10時〜17時 ※途中で馬の休憩あり

装蹄実演

日時 10月7日(土)、14時〜15時

馬体講座

日時 10月8日(日)、13時30分〜14時



子どもはもちろん大人も乗れます

お得な来場者プレゼント

来場者に先着で「特製パン」や牛乳券などを配布します。ぜひお越しください。

来場者プレゼント(両日とも実施)

内容	時間	対象
牛乳券	10時〜	先着200人
特製パン	11時〜	小学生まで先着200人
おみくじ馬券	引換券配布 13時〜 (引き換え 14時〜)	先着200人 (未成年除く)



秋の火災予防運動

火の用心 ことばを形に習慣に

問い合わせ 帯広消防署指導課(西6南6、消防庁舎1階、☎26・9131)

日ごとに寒さが増し、空気が乾燥する秋は、暖房器具を使う機会が増えることもあり、火災が発生しやすくなります。火災の発生を未然に防いで、命と財産を守るため、10月15日〜31日の間「秋の火災予防運動」を実施します。

期間中、住宅用火災警報器やこるろなど火の回りの状態を確認するため、消防職員や消防団員が高齢者などの家を訪問します。また、子どもの火遊びをなくすため、消防署や各出張所で不要なライターを回収するほか、女性消防団「桜華分団」が、「子どもの火遊び」をテーマにした防火演劇を幼稚園や保育所で披露し、火と煙の恐ろしさを伝えます。

消防署を一般開放して、消火、救急、通報体験など、いざというときに役立つ体験コーナーのほか、住警レンジャーショーやはしご車搭乗体験などを行います。



楽しく消火体験してみよう

消防ふれあいフェア2017

日時 10月15日(日)、10時30分〜12時30分

場所 消防庁舎(西6南6)

こんろの消し忘れに注意!

昨年市内で発生した住宅火災で最も多い原因です

① 住警レンジャーレッド宅 火加減はこれでよし 助けて!

② 誰か助けを求めている すぐ行かねば

③ レッド宅 こんろ消し忘れその後... 大変! 119番通報 火事です!

④ 室内の警報器が煙を感知 火事です

POINT 火元を離れる際は、絶対に火を消しましょう。また、住宅用火災警報器を正しく設置・点検しましょう。



市の職員数と給与

平成28年度帯広市人事行政の運営状況

市職員の数や給与、勤務条件について、公平性や透明性を高めるため、「帯広市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき公表します。

問い合わせ 職員課（市庁舎5階、☎65・4107、☎65・4108）

職員数

行財政改革や業務の見直しを通して、適正な職員数維持に努めています（表1・2）。また、年齢構成の平準化や技術継承のため、計画的な採用と定年退職者の再任用制度^{※1}を活用するほか、今後のさまざまな環境変化に柔軟に対応するため、任期付職員制度^{※2}を活用しています。

職員の採用と退職

平成28年度の職員採用者数は80人で正規職員が49人、再任用職員

が29人（うち短時間勤務が8人）、任期付職員が2人です。

給与制度

給与制度は、毎年見直しや点検を行っています。

平均給料額、平均年齢など

（一般行政職）

職員の給料は、職務の内容と責

表1 部門別職員数

各年度4月1日現在
単位：人

	人数		
	平成28年度	平成29年度	増減
議会	11	11	0
総務	175	177	2
税務	71	70	-1
労働	2	2	0
農林水産	41	43	2
商工	36	37	1
土木	137	148	11
民生	227	229	2
衛生	92	92	0
教育	204	205	1
消防	217	205	-12
水道	55	56	1
下水道	21	21	0
その他	65	68	3
合計	1354	1364	10

職員数は一般職に属する職員の数です。短時間勤務の再任用職員は入っていません。

表2 級別職員構成

各年度4月1日現在

職務の級	標準的な職務	人数（構成比）	
		平成28年度	平成29年度
1級	係員	262 (19%)	260 (19%)
2級	主任補および専門員	360 (27%)	383 (28%)
3級	主任および主任専門員	230 (17%)	210 (15%)
4級	係長および主査	249 (18%)	265 (20%)
5級	課長補佐	107 (8%)	100 (7%)
6級	課長	82 (6%)	84 (6%)
7級	企画調整監	36 (3%)	33 (3%)
8級	部長	28 (2%)	29 (2%)
合計		1354	1364

表3 平均給料額、平均年齢など（一般行政職）

各年度4月1日現在

区分	平成28年度	平成29年度
平均給料月額	30万6100円	30万4700円
平均年齢	40.3歳	40.7歳
初任給	大学卒	17万6700円
	高校卒	14万4600円

表4 期末・勤勉手当

区分	期末手当	勤勉手当
6月期	1.225月分 (0.65月分)	0.85月分 (0.40月分)
12月期	1.375月分 (0.80月分)	0.85月分 (0.40月分)
合計	2.60月分 (1.45月分)	1.70月分 (0.80月分)
1人当たり平均支給額	普通会計分	134万7000円
	企業会計分	134万3000円

()内は再任用職員の支給割合

※4 役職加算額：給料月額×役職による加算5～20%

表5 職員給与費決算額

区分	普通会計分	企業会計分
職員数(A)	1240人	77人
給与費	給料	44億5771万円
	職員手当	10億5122万円
	期末・勤勉手当	16億7159万円
	計(B)	71億8052万円
1人当たりの給与費(B/A)	579万742円	567万1948円

職員数は平成28年4月に給料を支給した職員の数(国保、介護、後期高齢者医療、ば んえい会計分を除く)です。

表6 人件費

区分	普通会計分	企業会計分
歳出額(A)	818億9850万円	145億7046万円
純損益または実質収支	—	10億2877万円
人件費(B)	110億54万円	5億8017万円
人件費率(B/A)	13.4%	4.0%
(参考)平成27年度人件費率	13.7%	3.8%

59月分。1人当たりの平均支給額

・定年退職 勤続25年の場合は34

人件費には、職員の給与・退職

退職手当

・58月分、勤続35年の場合は49

の通勤に自家用車やバスなどを利用している職員に対し、通勤距離

人件費

は除く(表5)

各種手当

・扶養手当 1年の収入総額が

額に並び、最高2万7000円支給します。

手当・共済費の事業主負担のほか、市議会議員や審議会などの委員に支払う報酬も含まれています(表6)

※1 再任用制度

定年退職した職員などを任期を定めて再雇用し、公務で培った知識や経験を広く活用する制度です。

※2 任期付職員制度

専門性を必要とする業務や期間が限定される業務などに対応するため、任期を定めて、職員を採用することができる制度です。

※3 ラス・パイレース指数

一般行政職について、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給料水準を示したものです。

特別職などの給料・報酬・諸手当

市長や副市長といった特別職の給料・報酬は、市内の公共的団体の代表者などで構成する帯広市特別職報酬等審議会の報告などをもとに決定しています。(表7)

市長		副市長	
給料月額	100万5000円	80万5000円	
期末手当	[6月期] 2.075月分 [12月期] 2.225月分 (給料月額+役職加算額)×期末手当月数 ※役職加算額: 給料月額×20%		
寒冷地手当(月額)	[11月~3月に支給] 世帯主で扶養親族がいる場合 2万6380円 世帯主で扶養親族がいない場合 1万4580円		
退職手当(在職月数1月につき)	給料月額×38.25 100		給料月額×31.88 100
議長		副議長	
報酬月額	58万円	47万円	

勤務・勤務条件・職員研修など

職員の勤務条件は、地方公務員法に基づき、国や他の地方公共団体の職員との間にバランスを失わないよう考慮しながら条例で定められています。また、職員の資質向上のため、計画的に研修を実施

勤務時間と休憩

勤務時間は1日7時間45分、1週間38時間45分です。休暇は年次有給休暇・病欠休暇・特別休暇(産前産後・忌引・夏季休暇など)・介護休暇などがあります。

年次有給休暇は1年に20日与えられ、その年に使用しなかった日数は、20日を限度に翌年に繰り越します。平成28年の職員1人当たりの平均取得日数は8・8日でした。

服務
市民の疑惑や不信を招くことがないよう、職員に対して倫理保持、交通安全などについての注意喚起を行っています。

職員が営利企業などに従事することは制限されますが、職務遂行に影響を及ぼさないと判断される場合は、許可を受け従事できます。平成28年度は参議院議員通常選挙の投票事務など合計で367件を許可しました。

勤務成績の評価

勤務成績の評価は条件附採用職員(新規採用職員)の正式採用時や昇格時、昇給時、期末・勤勉手当の支給時に実施しています。

職員の育成のための取り組み

地方自治体における、さまざまな課題に対し、適切に対応し、市民から信頼される組織・職員づくりのために、人材育成推進プランを作成し、必要な能力開発、意識の向上に努めています。

平成28年度の研修受講者数は、新規採用職員研修や役職別の基本

研修が1440人、特別研修が1044人、専門研修機関や先進地などへの派遣研修が24人でした。

職員の福祉と利益の保護

職員の福利厚生増進の取り組みのうち、共済事業などは北海道都市職員共済組合が、その他の事業の一部は、市から委託を受けた帯広市職員福利厚生会が実施しています。このうち、職員の人間ドック受診と定期健康診断の再検査に係わる事業費の一部を助成しています。また、職員が公務上の災害を被った場合の救済を目的とした公務災害補償制度があります。

平成28年度の災害件数は、公務災害が10件、通勤災害は1件でした。

分限処分と懲戒処分

分限処分は、心身の問題や刑事事件での起訴などにより、職務が十分に果たせない場合に、公務の能率維持を目的として行います。平成28年度は心身の問題で、16人が分限処分(休職)になりました。懲戒処分は、職員の義務違反に対し、道義的責任を問い、公務遂行の秩序を維持することを目的として行います。平成28年度は9人が懲戒処分(警告2件、減給6件、停職1件)になりました。

不服申し立て・措置要求

平成28年度は、分限処分や懲戒処分といった不利益処分に対する職員からの不服申し立て、苦情相談、勤務条件に関する措置の要求はありませんでした。

市長コラム

夢かなうまち **おびひろ**

言葉を伝える



帯広市長 米沢 則寿

毎月、皆さんにお届けしているこの「広報おびひろ」は、視覚障害者向けの音声版や点字版も作成し、配布しています。

先日、音声版「声の広報おびひろ」の作成にボランティアで協力をいただいたいる帯広朗読研究会「なすの会」の皆さんと懇談する機会がありました。「音訳は、発音や口調、文節の切り方など、ほんのちよつとした違いで、言葉の意味や伝わり方が違ってくるもの。そのことに細心の注意を払い、聞いてくださる視覚障害者の方々を思いながら、優しく語りかけることを心掛けています」といったお話を伺いました。

作成に当たっては、単に原稿を読み上げるだけではなく、視覚障害者にとって音声だけでは理解しにくいと思われる言葉の読みを、正しく伝わるようにするなどの準備を行った上で、発声の細部に至るまで留意し、「分かりやすく伝える」ことに力を注いでいる。その真摯な姿勢に心を打たれました。「相手の言葉が理解できない」あるいは「自分の言葉が理解されない」「伝えたことが誤解された」など、言葉が相互にうまく伝わらない経験は、誰もがもち兼ねないではないでしょうか。言葉は、互いの意思疎通を図るための手段ですが、私たちの考え方や価値感人がそれぞれ異なるように、言葉の使い方や受け止め方も多様です。同じ言葉や表現でも、相手を喜ばせたり、反対に悲しませたり、時に怒らせたりする場合もあります。

相手の立場を思いやり、尊敬語、謙譲語、丁寧語を使い分けてきた日本人ですが、最近では、さまざまな立場にある人が、相手への配慮に欠ける主張や相手を傷つける発言をしたとの報道が目につきます。「言葉は心の使い」ということわざがあるように、日常の心のありようが言葉遣いに自然と表れてしまうのかもしれない。

「相手の立場や気持ちを考え、適切な言葉や表現で、相手に分かりやすく伝えることができているだろうか」「相手の言葉の意図を的確に受け止められているだろうか」。なすの会の皆さんの姿勢とも重ね合わせながら、そんな思いに至りました。

人々が互いを尊重し合いながら、心が通じ合う優しい言葉や心地よい言葉で、互いに元氣や明るさをもたらず会話が交わされているまち。外から訪れる人が、この地域に暮らす人たちのこうした会話から、おおらかさや穏やかさ、そして品格を感じてもらえる十勝・帯広になると素晴らしいと思います。

森のハロウィンパーティー

場・問森の交流館・十勝(西20南6、☎34・0122)

森のパンキンカービング

カボチャを彫り、森のハロウィン会場に飾るジャック・オー・ランタンを作る。森のハロウィン2017終了後、持ち帰り可。

対中学生以下と保護者
 日10月28日(土)、15時～17時
 定抽選10組
 申9月23日(祝)～10月20日(金)までに、森の交流館・十勝へ。



森のハロウィン2017

仮装コンテストや、スタンプラリー、絵本の読み聞かせ、工作などを行う。

対中学生以下。小学4年生以下は保護者同伴
 日10月29日(日)、①10時～12時30分、②13時30分～15時30分



仮装しているんなブースを楽しもう

イベント

◆未来に伝えるあそび体験「スベシールおはなし会とむかしあそび体験」
 問図書館(西2南14、☎22・4700)

帯広図書館友の会おひさまによる、五感を使った遊びを交えた、昔話・エプロンシアター・パネルシアターなどを行う。時間はいずれも11時～11時40分。

◆百年記念館会場(緑ヶ丘2)
 日9月30日(土)

◆児童会館会場(緑ヶ丘2)
 日10月14日(土)

◆図書館会場(西2南14)
 日11月3日(祝)

アイヌ生活文化展

アイヌ民族の伝統的な儀式や舞踊の披露、工芸品などの展示、刺しゅう教室、アイヌに関する漫画、

◆帯広の森・はぐくむのイベント

小学生以下は保護者同伴。
 場・申・問9月26日(火)各開催日の前日までに、電話で帯広の森・はぐくむ(南町南9線49、☎

◆森の音楽会
 66・6200へ。
 秋の森で行う吹奏楽の野外演奏会。木のカスターネット作り体験もあり。
 日10月8日(日)、10時～15時
 雨天時は、9日(祝)へ順延

◆健康ウォーキング
 帯広の森の見どころを巡りながら、秋の森の園路を歩く。
 日10月22日(日)、10時～12時
 定先着30人

◆森の生き物講座(鳥編)
 森に住む鳥類の生態と、森の関わりについて学ぶ。
 日10月28日(土)、10時～12時
 定先着10人

◆森の生き物講座(ほ乳類編)
 大熊勲氏(森づくりサークルもりとも!)を講師に、森で暮らすほ乳類の生態、観察手法について学ぶ。
 日10月28日(土)、13時～15時
 定先着10人

◆間伐とペレット作り
 間伐体験をして、出た木材をペレットに加工し、それを燃やして簡単な料理を作る。

◆馬と一緒に森づくり
 開拓期などに行われていた、馬で木材を運ぶ「馬搬(ばはん)」や、森に親しむ体験をする。
 日11月5日(日)、10時～12時
 定先着30人

第62回岩内仙峡もみじまつり

紅葉の名所「岩内仙峡」で味覚コーナーや野菜のつかみ取りなどのほか、歌謡ショーなどステージイベントも盛りだくさん。
 日10月8日(日)、10時～14時15分
 場岩内仙峡。雨天時は川西農業者研修センター(川西町西2)
 問帯広観光コンベンション協会(西2南12、エスタ東館、☎22・8600)、観光課(市庁舎7階、☎65・4169)

Information

帯広市からの お知らせ

10月

申し込み方法など、特に記載のないものは、参加無料ですので当日会場へ直接お越しください。
 詳しい内容は、担当課へ問い合わせください。(施設ごとに業務時間が異なります)

市役所代表
 ☎24・4111、F23・0151

市役所本庁舎業務時間
 月～金曜日 8時45分～17時30分

帯広市ホームページ
<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/>

往復はがきなど「申込時の記載事項」

- ① イベント・教室名
希望する日時・曜日・コースなど
- ② 住所(郵便番号も)
- ③ 氏名(ふりがな)
- ④ 電話番号
- ⑤ 生年月日(スポーツの教室のみ)
- ⑥ 性別
- ⑦ 年齢(高校生以下は学校名・学年、年中、年長なども)
- ⑧ 保護者氏名(小学生以下の場合)
- ⑨ 返送先(往復はがきの場合)

特に記載のない申し込みは、申込期限必着で1人(組)1通。直接窓口で申し込む場合は、返信用のはがきをお持ちください。

はぐくむ秋まつり

まき割りや間伐体験、たき火パン作り、落ち葉のプールなど、森を満喫する、年に一度の大イベント。小学生以下は保護者同伴。
 日10月15日(日)、10時～15時
 場・問帯広の森・はぐくむ(南町南9線49、☎66・6200)



のこぎりで上手に切れるかな

児童会館のイベント

場・問児童会館（緑ヶ丘2、☎24・2434）

◆親子囲碁入門教室

対小・中学生と保護者

日10月1日(日)、10時～12時

◆野草園秋の散策会

野草園運営委員の案内で、秋の園内を散策する。

日10月7日(土)、10時～12時

◆親と子のエンジョイ将棋

対小・中学生と保護者

日10月14日(土)、10時～12時

◆きらきらパペットシアター

幼児から小学校低学年向けの人形劇。

日10月14日(土)、14時～15時

◆親子科学実験教室

アンモナイトについて学び、石膏でレプリカを作る。

対小学3～6年生と保護者

日10月15日(日)、①13時30分～14時30分、②14時40分～15時40分

◆星の観察会「月をみよう」月面Xを探せ!

星空解説と天体観察。天候不良時は星空解説のみ。

日10月27日(金)、18時45分～20時30分

◆親子おもしろ教室

アイロンビーズを使って、好きなアルファベットのキーホルダーを作る。

対幼児、小・中学生と保護者

日10月28日(土)、9時30分～11時30分

◆百年記念館のイベント

問百年記念館（緑ヶ丘2、☎24・2434）

担当課政策室

5352)

◆ロビー展「まちなか風景写真展」

市街を撮影した写真資料から、暮らしの移り変わりを紹介。

日10月6日(金)～11月5日(日)、9時～17時30分

◆第2回懐かしき昭和の歌謡と洋楽のコンサート

昭和の懐かしい歌謡曲や洋楽のレコードコンサート。

日10月7日(土)、13時30分～15時

◆陶芸サークル展

百年記念館で活動している帯広陶芸会、十勝陶夢の会、帯広銀陶会、サークル・ポタリ他的作品展示。

日10月12日(木)～22日(日)、9時30分～16時30分(最終日は15時まで)

◆川西・大正・帯広合併60周年記念写真展(出張展示・大正編)

大正地区を中心に、大正時代から昭和60年頃までを振り返る写真展。

日10月13日(金)～11月1日(水)、9時～22時

◆ちくだい馬フォーラム2017

帯広畜産大学の馬に関する取り組みの紹介を通じ、馬と人との関係について理解を深めるイベント。

日10月7日(土)、12時30分～16時

◆帯広畜産大学(稲田町西2)

問帯広畜産大学畜産フィロド科学センター馬介在活動室(☎49・5312)

HP <http://www.obihiro.ac.jp/~umakazai/index.html>

担当課政策室

動物園のイベント

問動物園（緑ヶ丘2、☎24・2437）

◆未来の動物園を考えるフォーラムおびひろ(市民大学講座第29集)

若生謙二氏(大阪芸術大学教授)を講師に、「世界の動物園からみた、おびひろの動物園の可能性」と題した講演会と、パネルトークを行う。

日10月15日(日)、13時30分～15時45分

◆ハッピーハロウィン!動物たちに秋の味覚のプレゼント

ハロウィンに、飼育動物にカボチャなどを給餌する。ソウ、エソシカ、ニホンザルを予定。

給餌時間は当日、動物園ホームページが正門・南門にあるスポットガイド予定表で発表。

日10月29日(日) 動物園

◆帯広の歴史探訪

問文化課(市庁舎8階、☎65・4209)

◆ぶらり帯広・文化財

学芸員と市内を散策して、指定文化財や歴史的建造物を巡る。百年記念館(緑ヶ丘2)集合、解散。

日10月15日(日)、9時～12時

◆十勝鉄道蒸気機関車・客車公開

十勝鉄道の蒸気機関車と客車の内部を公開。

日10月15日(日)、10時～15時

◆高田泰治チェンバロリサイタル

「メサイア」出演者、高田泰治によるチェンバロリサイタル。チケットは市民文化ホールなどで販売。(「メサイア」との通し券あり)

日10月23日(月)、19時～21時

◆第48回おびひろ菊まつり

丹精込めて育てた大輪の菊が並び「菊花展」や、「菊と蝶」をテーマとした総合花壇が見どころ。和の風情あふれるステージイベントや味覚コーナーなど盛りだくさん。

日10月28日(土)～11月1日(水)、9時～17時(最終日は16時まで)

◆市民文化ホールのイベント

場・問図書館(西2南14、☎22・4700)

◆木管五重奏が語る 音楽ものがたり「ピーターとおかみ」

子ども向けの、語りと木管楽器の演奏。

日10月20日(金)、18時30分～20時

◆古楽器によるヘンデル「メサイア」帯広演奏会

ヘンデルの時代の音色を再現し、キリストの生誕、受難、復活を表した総勢120人の合唱。チケットは市民文化ホールなどで販売。

日10月22日(日)、15時～17時

◆帯広市わかば会

問生涯学習課(市庁舎8階、☎65・4192)

◆第29回生き生きふれあい祭

高齢者自主学習グループの会員と、保育園児たちによる芸能発表。

日10月19日(木)、10時～15時10分

◆保存樹木を巡るバスツアー

市の保存樹木を中心に市内の歴史ある樹木をバスで巡り、樹木の特性や歴史を学ぶ。雨天中止、少雨決行。市庁舎集合、解散。

日10月24日(火)、9時30分～16時

問・問10月2日(月)～16日(月)までに、みどりの課(市庁舎6階、☎65・4186)へ。

◆みなみの風コンサート

市内の小学生・高校生が出演する、吹奏楽・合唱・よさこいなど親子で楽しめるコンサート。入場には市内の子育て支援センター、子育て支援課(東8南13、保健福祉センター内)などで配布の整理券が必要。

日10月28日(土)、10時～11時

◆森の茶会～冬～

外国人向けに、日本の文化を紹介するお茶会を開催。

対十勝管内在住の外国人、市内在住の中学生以上

日11月12日(日)、お茶会体験10時～11時50分、お点前体験13時～14時30分

定外国人先着50人、日本人先着10人

費日本人のみ、お茶会体験300円、お点前体験500円

場・申・問10月31日(火)～11月10日(金)までに、森の交流館・十勝(西2南6、☎34・0122)へ。

◆帯広市わかば会

問生涯学習課(市庁舎8階、☎65・4192)

◆第29回生き生きふれあい祭

高齢者自主学習グループの会員と、保育園児たちによる芸能発表。

日10月19日(木)、10時～15時10分

◆保存樹木を巡るバスツアー

市の保存樹木を中心に市内の歴史ある樹木をバスで巡り、樹木の特性や歴史を学ぶ。雨天中止、少雨決行。市庁舎集合、解散。

日10月24日(火)、9時30分～16時

◆高田泰治チェンバロリサイタル

「メサイア」出演者、高田泰治によるチェンバロリサイタル。チケットは市民文化ホールなどで販売。(「メサイア」との通し券あり)

日10月23日(月)、19時～21時

◆第48回おびひろ菊まつり

丹精込めて育てた大輪の菊が並び「菊花展」や、「菊と蝶」をテーマとした総合花壇が見どころ。和の風情あふれるステージイベントや味覚コーナーなど盛りだくさん。

日10月28日(土)～11月1日(水)、9時～17時(最終日は16時まで)

◆市民文化ホールのイベント

場・問図書館(西2南14、☎22・4700)

◆木管五重奏が語る 音楽ものがたり「ピーターとおかみ」

子ども向けの、語りと木管楽器の演奏。

日10月20日(金)、18時30分～20時

◆古楽器によるヘンデル「メサイア」帯広演奏会

ヘンデルの時代の音色を再現し、キリストの生誕、受難、復活を表した総勢120人の合唱。チケットは市民文化ホールなどで販売。

日10月22日(日)、15時～17時

◆帯広市わかば会

問生涯学習課(市庁舎8階、☎65・4192)

◆第29回生き生きふれあい祭

高齢者自主学習グループの会員と、保育園児たちによる芸能発表。

日10月19日(木)、10時～15時10分

◆保存樹木を巡るバスツアー

市の保存樹木を中心に市内の歴史ある樹木をバスで巡り、樹木の特性や歴史を学ぶ。雨天中止、少雨決行。市庁舎集合、解散。

日10月24日(火)、9時30分～16時

◆高田泰治チェンバロリサイタル

「メサイア」出演者、高田泰治によるチェンバロリサイタル。チケットは市民文化ホールなどで販売。(「メサイア」との通し券あり)



申込用受付サイト



多種多様で見事な菊が楽しめる

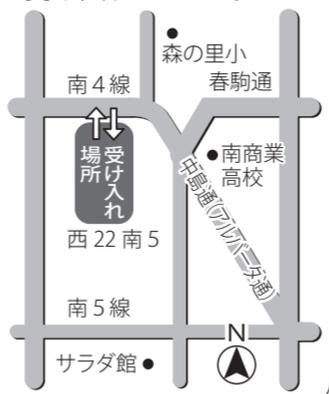
家庭から出る剪定枝を無料で受け入れます

庭木の剪定などで市内各家庭から出る枝(太さ10センチ未満)を、無料で受け入れます。持ち込まれた枝は、大型破砕機でチップ化した後、家畜の敷料や堆肥として有効活用します。

対市内在住者で、乗用車や軽トラックで持ち込むことができる人(軽トラック以外のトラックや事業者による持ち込みは不可)
日11月11日(土)、10時～15時
場帯広の森(西22南5)
問みどりの課(市庁舎6階、☎65・4186)

剪定枝の受け入れについて

※安全のため、開場時間前に道路上に並ぶことは禁止します。
※午前中は大変混み合うため、午後の来場をお勧めします。



講座・教室

百年記念館の講座・教室

場・問百年記念館(緑ヶ丘2、☎24・5352)

◆博物館講座「とてつぼ通りの機関車と客車の系譜」

持田誠氏(浦幌町立博物館学芸員)を講師に、十勝鉄道保存車両の歴史を振り返り、鉄道文化財の抱える課題と未来を考える。
日10月14日(土)、14時～16時

◆博物館講座「アイヌから見た和人、和人から見たアイヌ」

丹菊逸治氏(北海道大学アイヌ・先住民研究センター)を講師に、アイヌ民族から見た和人、和人から見たアイヌ民族の姿を分かりやすく解説。
日10月21日(土)、14時～16時

緑の健康講習会 堆肥づくり

緑の健康診断員を講師に、落ち葉を用いた堆肥づくりを学ぶ。
日10月28日(土)、13時30分～15時
定先着40人
場・申・問10月20日(金)までに、電話でみどりと花のセンター(緑ヶ丘2、☎21・3172)へ。

初めてのパンとケーキ作り 教室(3カ月コース)

3回の講習でおいしいパンとケーキ作りを学ぶ。
日10月20日(金)、11月17日(金)、12月15日(金)、全3回、10時～12時30分
定先着10人
費6480円
場・申・問10月13日(金)までに、往復はがきに「申込時の記載事項」(12頁)を書いて、帯広市都市農村交流センターサラダ館(〒080・2472西22条南6丁目6、☎36・8095)へ。

みそ造り教室

「畑のキッチンおびひろ」の会員を講師に、4キログラムのみそを作る。「麹おこし」体験を希望する人は、申し込み時に電話で確認してください。
日11月10日(金)、10時～12時

場川西農業者研修センター(川西町西2)
定先着20人
費2500円
申・問10月10日(火)～27日(金)までに、電話で農政課(川西町基線61、☎59・2323)へ。

チーズ作り体験研修(約1キログラム)

地場産の生乳を使った加工体験。
日①10月21日(土)、②11月4日(土)、いずれも10時～16時
定先着10人
費各3000円
場・申・問①10月13日(金)、②27日(金)までに、電話で畜産物加工研修センター(八千代町西4線、☎60・2514)へ。

プラザ・エンジョイスクール パソコン講座

楽しく分かりやすいパソコン11月講座。各講座、全5回。
対高校生以上
日11月1日～17日の各曜日、▽午前の部10時～12時▽午後の部13時30分～15時30分▽夜間の部18時30分～20時30分

講座名	日	程
パソコン入門(年賀状作成裏面)	毎週火・木	午前
楽しくエクセル①		午後
差し込み印刷・住所録管理		夜間
パソコンで年賀状(筆まめ)	毎週水・金	午前
楽しくワード②		午後
就職や進学にも! 資格・スキルアップ エクセル①		夜間

定各先着20人
費4000円(テキスト代別途)

場・申・問10月5日(木)～24日(火)までに、直接とかちプラザ(西4南13、☎22・7890)へ。

赤十字資格講習・研修

定各先着30人
申・問各申込期間に、直接社会課(市庁舎2階、☎65・4146)へ。
◆赤十字救急法基礎講習会
心肺蘇生法やAEDの使用方法など、応急手当てを学ぶ。
対15歳以上
日①10月21日(土)、13時～17時、②11月11日(土)、9時～13時
場①帯広の森市民プール(南町南7線56)、②グリーンプラザ(公園東町3)
費各1500円
申込期間①10月2日(月)～20日(金)、②10月11日(水)～11月10日(金)

動物園の講座・教室

場・申・問各申込期間に、①は電話で動物園へ、②③は郵便はがきに「申込時の記載事項」(12頁)を書いて、動物園(〒080・0846帯広市緑ヶ丘2番地、☎24・2437)へ。当選者には別途通知する。
①おびろトークカフェ
飲み物を片手に飼育員の話や聞くトークカフェ。テーマは「ゾウのスポットガイド特別編」です。
日10月22日(日)、13時30分～14時30分
定先着30人
申込期間10月1日(日)～21日(土)
②中高生の1日飼育係
動物の飼育体験後、獣医師の仕事の見学などを行う。
対中学生・高校生
日11月4日(土)、10時～15時
定抽選4人
申込期間10月5日(木)～19日(木)
③秋の裏側探検隊
閉園中の動物たちの様子を、飼育員の説明を聞きながら観察して回るガイドツアー。今回は、キリン、ホッキョクグマ、ゾウ、アシカです。
小学生以下は保護者同伴。郵便はがき1枚で1組申し込み可能。グループの場合は、「申込時の記載事項」のほかに参加者全員の氏名、年齢を追記。
日11月11日(土)、14時～15時30分
定抽選45人
申込期間10月12日(木)～26日(木)

生活館の講座・教室

場生活館(柏林台東町2)
申・問10月16日(月)～31日(火)までに、文化課(市庁舎8階、☎65・4209)へ。
◆薬膳アイヌ料理実習体験会
アイヌ料理を作り、試食する。
対小学生以上。小学生は保護者同伴
日11月5日(日)、10時～14時
定先着30人
費1000円

◆アイヌの暮らしについて自然素材を活用しながら実践的に学ぶ体験事業

アイヌの人たちの生活用具、キナ(ござ)を編む。
対中学生以上
日11月12日～12月10日の日曜日、全5回、13時～16時
定先着30人

森の交流館・十勝の講座

場・申・問各申込期間に、森の交流館・十勝(西20南6、☎34・0122)へ。
◆通訳ボランティア育成セミナー
通訳案内士を講師に、案内士業務やノウハウを学ぶ。
対英検2級以上の英語力がある人で、十勝インターナショナル協会のボランティアに登録ができる人
日11月2日(木)、9日(木)、16日(木)、いずれも19時～20時30分
費各500円
申込期間10月3日(火)～各開催日当日、9時～17時

◆はじめての通訳者講座

会議通訳者を講師に、通訳業の内容や、プロへの道などを語る。

プラザ・エンジョイスクール 平成29年度後期講座

10月～翌4月に開催する講座の受講生を募集。詳細は総合案内(市庁舎1階)、とかちプラザ、各コミセンなどに配置のパンフレットか市ホームページで確認してください。

とかちプラザ開催講座のみ、託児可能。

対高校生以上
申・問10月5日(木)～24日(火)10時～21時30分までに、とかちプラザ(西4南13、☎22・7890)へ。西帯広コミセン開催分講座のみ、10月5日(木)、10時～11時まで、西帯広コミセンで受け付けます(それ以降はとかちプラザで受け付け)。パンフレットに折り込みの郵便振替用紙での申し込みも可能。

種類	講座
健康・スポーツ	ZUMBA&ウェーブストレッチ、背骨コンディショニング、太極拳、ヨガ・気功、社交ダンス、フラダンス、硬式テニスなど
音楽	コーラス、カラオケ、ゴスペル
書道・絵画	書道、美文字入門、油絵、パステル画
語学	英会話(入門、初級、中級)、韓国語
文学	源氏物語(入門、初級、中級)
趣味・手工芸	パッチワークキルト、刺しゅう、ちぎり絵、アロマテラピー、着物、絵手紙
その他	華道、茶道、料理など

◆第31集「2017ちくどい教養人間講座」技術と文化」
世界各地のさまざまな伝統のなかで磨かれてきた《技術》の合理性やその《文化》としての発展の営みを、現代の科学技術によって解き明かす。未就学児(2歳以上)の託児希望者は10月12日(木)までに申し込み。
日10月19日(木)、26日(木)、11月2日(木)、全3回、18時30分～20時
定先着150人
申込期限10月18日(水)

◆第32集「ダイバーシティ推進は「やめられない」と「とまらない」カルビのダイバーシティ推進について」
新谷英子氏(カルビー人事部総本部ダイバーシティ委員会委員長)を講師に、女性のキャリア支援をはじめ、多様な人材が活躍するための働き方改革を積極的に推進するカルビの取り組みを学び、ダイバーシティ推進の重要性について理解を深める。
日10月24日(火)、15時30分～16時45分
場帯広畜産大学(稲田町西2)
定先着100人
申込期限10月23日(月)

◆第33集「スクラム十勝シンポジウム2017『持続的な生産活動をめざす十勝の農畜産業』」
農業生産活動の持続性を確保するための取り組みや、農畜産物の安全認証取得に向けた取り組みについて、各分野の専門家から学ぶ。未就学児(2歳以上)の託児希望者は10月18日(木)までに申し込み。
日10月25日(水)、13時45分～16時45分
定先着150人

日時	場所
10月30日(月) 9時45分～15時	保健福祉センター(東8南13)
31日(火) 10時～15時	
11月1日(水) 10時30分～15時30分	
2日(木) 10時～14時30分	
7日(火) 10時～15時	帯広ファミリーサポートセンター
9日(木) 10時30分～16時	

全15項目のうち5項目分は必須講習となります。

子育て支援課からのお知らせ
場・問特に記載がないものは、子育て支援課(東8南13、保健福祉センター内、☎25・9722)へ。
◆乳幼児健診のお知らせ
対象日は個別通知を確認。受け付けは12時20分～13時15分
・5カ月児健診とBCG接種
健診に来られなくても希望者には、絵本をプレゼント。詳細は問い合わせください。

10月開催	講座名・場所
3日(火)	ママと赤ちゃんの食事講座 地域子育て支援センターもりのこ(大空町1、☎49・2005)
5日(木)	ママと赤ちゃんのわくわく母乳講座 地域子育て支援センターいなだ(西15南40、☎48・2206)
12日(木)	ママと赤ちゃんの歯つばい講座 地域子育て支援センターあじさい(東9南19、☎67・6231)

◆ほんわかファミリー教室
妊娠中の栄養のお話、赤ちゃんをお風呂に入れる練習、パパの妊婦体験など、出産・育児を学ぶ。対3月に初出産予定の夫婦
日11月12日(日)、13時～15時30分
申10月16日(月)～11月8日(水)まで
に、電話で子育て支援課へ。

第13回シルバーフェア シルバー人材センターの会員が制作した作品展示やお宝市などイベントが盛りだくさん。
日10月13日(金)、10時～15時、14日(土)、10時～13時 場シルバーいきいきプラザ(西13南2) 問帯広市シルバー人材センター(☎38・2001)

対十勝インターナショナル協会のボランティアに登録ができる人
日11月4日(土)、①10時～12時、②13時～15時
費500円
申込期間10月3日(火)～11月1日(水) 9時～17時

◆普通救命講習
出血時の止血法や心臓停止、呼吸停止時の救命手当て、AEDの使い方など心肺蘇生法を習得する。
日・場①11月9日(木)、消防庁舎(西6南6)、②19日(日)、南出張所(西17南41)、いずれも13時30分～16時30分
定①先着50人、②先着30人
費各500円
申・問①10月3日(火)～11月2日(木)まで、②10月13日(金)～11月12日(日)までに、帯広消防署救急課(西6南6、消防庁舎1階、☎26・)へ。
定先着150人
申込期限10月17日(火)

◆第30集「消費者講座」あなたを守る契約のルール～消費者のための法律を知っておこう」
櫻井智恵氏(帯広消費者協会消費生活相談員)を講師に、よりよい消費生活を送るための契約のルールについて学ぶ。未就学児(2歳以上)の託児希望者は10月12日(木)までに申し込み。
日10月19日(木)、10時～11時30分
定先着150人
申込期限10月17日(火)

◆第34集「男女共同参画講座」それぞれのワーク・ライフ・バランス」
平岡祥孝氏(札幌大谷大学教授)を講師に、日常生活におけるワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の在り方について理解を深める。未就学児の託児希望者は10月19日(木)までに申し込み。
日10月29日(日)、10時～11時30分
定先着50人
申込期限10月27日(金)

◆ファミリーサポートセンター事業 提供会員講習会
子育てをサポートしたい人(提供会員)を対象に、提供会員講習会を開催。講習会を受講することで提供会員として活動できる。講習会は、事業概要、子どもの世話・遊び、小児看護の基礎知識など、全15項目。講習内容と開催時間の詳細は問い合わせください。
対市内在住の20歳以上の入会費
申・問10月2日(月)～27日(金)までに、帯広ファミリーサポートセンター(西20南5、ぶれいおん・とかち内、☎66・4285)へ。

◆羊毛工芸講座～ニードルフェルトでつくるクリスマス
羊毛を特殊な針でつついて、ふわふわのオーナメントを作る。
対市内在住の障害者手帳を持つ人
日11月1日(水)、10時～12時
定先着16人
費600円
申込期間10月3日(火)～19日(木)

◆聴覚障害者学級給紙講座
手作りの素材で温かい給紙を作る。
対市内在住の聴覚障害者手帳を持つ人
日11月12日(日)、10時～12時
定先着16人
費300円
申込期間10月30日(月)～11月8日(水)

健康・福祉
障害者生活支援センターからのお知らせ
場・申・問各申込期間に、電話またはファクスで障害者生活支援センター(東8南13、保健福祉センター内、☎25・9701、F25・9703)へ。手話・要約筆通訳の希望者は早めに申し込みください。
◆羊毛工芸講座～ニードルフェルトでつくるクリスマス
羊毛を特殊な針でつついて、ふわふわのオーナメントを作る。
対市内在住の障害者手帳を持つ人
日11月1日(水)、10時～12時
定先着16人
費600円
申込期間10月3日(火)～19日(木)

健康・福祉
障害者生活支援センターからのお知らせ
場・申・問各申込期間に、電話またはファクスで障害者生活支援センター(東8南13、保健福祉センター内、☎25・9701、F25・9703)へ。手話・要約筆通訳の希望者は早めに申し込みください。

◆羊毛工芸講座～ニードルフェルトでつくるクリスマス
羊毛を特殊な針でつついて、ふわふわのオーナメントを作る。
対市内在住の障害者手帳を持つ人
日11月1日(水)、10時～12時
定先着16人
費600円
申込期間10月3日(火)～19日(木)

健康・福祉
障害者生活支援センターからのお知らせ
場・申・問各申込期間に、電話またはファクスで障害者生活支援センター(東8南13、保健福祉センター内、☎25・9701、F25・9703)へ。手話・要約筆通訳の希望者は早めに申し込みください。

健康推進課からのお知らせ

申・問特に記載が無い場合は、各申込期限までに、健康推進課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9721）へ。

◆ストレスと心の健康講座「あなたが変わればストレスが変わる」自分なりのストレス対処法を見つめるヒントを学ぶ。13時〜16時まで申し込み不要でストレス測定体験もあり。

日10月20日(金)、14時〜15時30分
場図書館(西2南14)

定先着35人
申込期限10月13日(金)

◆エキノコックス症検診

採血による血清反応検査。結果は約4週間後に通知。

対市内在住の小学3年生以上で、過去5年以内に受診していない人
日10月24日(火)、14時〜14時30分
場保健福祉センター
費300円(中学生までは無料)

◆からだスッキリ講座

テーマに沿った講話と、家庭でも簡単にできる運動を行う。



自宅でも気軽にできる運動に挑戦

対市内在住の18歳以上
場保健福祉センター
定先着40人

申込期限10月25日(水)

・歯から始まる健康について
日10月27日(金)、10時〜11時30分

・身近な感染症対策

日11月6日(月)、10時〜11時30分

◆健康づくり教室「チャレンジスリムコース」

期間中は保健福祉センターで行う各種運動支援の取り組みに参加可能。託児希望は事前に申し込み。対市内在住の18歳以上。全2回に参加できる人
日10月30日(月)、翌1月29日(月)、全2回、9時30分〜12時
場保健福祉センター
定先着20人

申込期限10月20日(金)

◆ランチ&運動つき健診教室

病気の早期発見とメタボにならないための栄養学習と試食、手軽な運動をセットで体験できる教室。対特定健診、がん検診申込者
日11月13日(月)、11時〜12時40分
場啓北コミセン(西13北2)

定先着20人

申11月1日(水)までに、電話で北海道対がん協会帯広出張所(☎27・2345)へ。

高齢者福祉課からのお知らせ

問高齢者福祉課(市庁舎2階、☎65・4145)

◆認知症サポーター養成講座

認知症の症状や接し方などを学び、認知症の人を地域で見守る応援者を養成する。
日10月18日(水)、14時〜15時30分
場市庁舎
定先着30人

申10月2日(月)〜16日(月)までに、高齢者福祉課へ。

◆認知症・家族の集い「茶話会」

認知症の人を介護している家族の交流会。介護を終えた人や、認知症の人と一緒に参加も可能。

手伝いが必要な場合は連絡ください。
日10月26日(木)、13時30分〜15時
場グリーンプラザ(公園東町3)
費1000円

◆家族介護者リフレッシュ事業「お食事&交流会編」

介護者の心身の元気回復を目的に、情報交換や交流などを行う。時間はいずれも10時〜15時。いずれか1回参加可能。
対65歳以上の要支援1・2、要介護1〜5の市内在住の高齢者を在宅で介護している市民(別居でも可)
定先着15人
申各開催日の1カ月前〜1週間前までに、電話で各地域包括支援センターへ。

申込期限10月18日(水)

◆スインピア記録会

日本水泳連盟公認プールで、大会形式でタイムを計測する。競技内容については問い合わせください。
対競技種目を完泳できる小学生以上
日12月3日(日)、9時〜12時
定先着150人
費200円
申込期限11月8日(水)

帯広の森市民プールからのお知らせ

場・申・問各申込期限までに、往復はがきに「申込時の記載事項」(12頁)を書いて、帯広の森市民プール(〒080・0856南町南7線56番地、帯広の森運動公園内、☎48・8912)へ。
◆キッズコーデイネーション幼児スポーツ
遊びの要素を加えながら運動神経の発達を促すトレーニング。
対幼稚園・保育所の年中・年長児に当たる幼児
日11月8日〜翌1月24日の水曜日、

開催日	講座名・場所	地域包括支援センター
11月17日(金)	かんたんのできるクレヨン給手紙&お食事会 もみじ乃(西6南20)	帯広けいせい苑 ☎53・4771
12月1日(金)	そば打ち体験 地域包括支援センター愛仁園(西24南1)	愛仁園 ☎49・2338
12月13日(水)	薬剤師によるお薬講話&小物作り&お食事 ふじまるビル8階(西2南8)	帯広至心寮 ☎24・1150
翌1月23日(火)	お食事会&交流会 グリーンプラザ(公園東町3)	帯広市社会福祉協議会 ☎21・3292

スポーツ

◆50歳からの水泳教室(2回目)
対市内在住の50歳以上の初心者
日11月1日〜翌2月21日の水曜日、全12回、12時〜12時50分
定抽選20人
費6000円
申込期限10月18日(水)

◆チャレンジ☆スイミング(2回目)
対市内在住の18歳以上の初心者
日11月3日〜翌3月2日の金曜日、全12回、19時〜19時50分
定抽選20人
費6000円
申込期限10月18日(水)

全10回、16時〜17時
定抽選30人
費2000円
申込期限10月18日(水)

◆レッツ!バルシューレ(1回目)
ボールなどを使ったさまざまな運動遊び。
対幼稚園・保育所の年中児に当たる幼児〜小学2年生
日11月24日〜翌1月12日の金曜日(ただし12月7日のみ木曜日)、全6回、15時30分〜16時20分
定抽選30人
費1200円
申込期限11月4日(土)

◆ビギナーズエクササイズ(3回目)
有酸素運動と目的別筋力トレーニングで、体力向上と健康の増進を図る。
対市内在住の18歳以上
日11月9日〜翌1月25日の木曜日、①初級10時〜11時、②中級11時15分〜12時15分、各全10回
定抽選①20人、②30人
費各4000円
場・申・問10月26日(木)(消印有効)までに、往復はがきに「申込時の記載事項」(12頁)を書いて、総合体育館(〒080・0030大通北1丁目1番地、☎22・7828)へ。

◆帯広の森体育館からのお知らせ
場・申・問各申込期限までに、往復はがきに「申込時の記載事項」(12頁)を書いて、帯広の森体育館(〒080・0856南町南7線56番地、帯広の森運動公園内、☎48・8912)へ。
◆キッズコーデイネーション幼児スポーツ
遊びの要素を加えながら運動神経の発達を促すトレーニング。
対幼稚園・保育所の年中・年長児に当たる幼児
日11月8日〜翌1月24日の水曜日、

申込期限10月18日(水)

メンタルトレーニング講習会

場・申・問11月19日(日)までに、電話またはファクスで帯広の森体育館(南町南7線56、帯広の森運動公園内、☎48・8912、F48・6261)へ。
◆選手向け
スポーツ選手の競技力向上に必要な心理的スキルを学ぶ。
対中学生以上
日12月9日(土)、10日(日)、全2回、いずれも10時〜17時
定先着200人
費中学生・高校生500円、一般1000円

◆指導者・保護者向け

選手、子どもたちのやる気の引き出し方を学ぶ。
対指導者・保護者
日12月9日(土)、19時〜21時
定先着30人
費1000円

募集

◆審議会委員の募集
対市内在住または通勤、通学する20歳以上で、年に2〜3回程度の日中の会議に出席できる人。市が設置する委員会などの委員は除く。任期各2年間
報酬出席1回につき8500円
◆とかちプラザ運営審議会委員
とかちプラザの管理や運営について審議を行う委員を募集。
定2人

◆ちびっこスケート教室
基礎中心の初心者教室。
対市内在住の小学生の初心者
日11月20日(月)〜24日(金)、全5回、17時〜18時
定抽選110人
費2500円
場・申・問11月1日(水)までに、往復はがきに「申込時の記載事項」

対市内在住の18歳以上
場保健福祉センター
定先着40人

申込期限10月25日(水)

・歯から始まる健康について
日10月27日(金)、10時〜11時30分

リラクゼーション室のお知らせ
リラクゼーション室の開室時間は、毎週、月・金曜日、13時〜17時(一般開放、16時30分までに入室)、火曜日、18時〜20時(予約制)、10月9日(祝)は休みです。問健康推進課(東8南13、保健福祉センター内、☎25・9721)

任期開始日11月1日(水)

申・問10月2日(月)〜13日(金)までに、応募動機やとかちプラザに関する意見などを書いた800字以内のレポートと福祉・環境・社会教育などでのボランティア活動経験を記載した履歴書を、直接または郵送で生涯学習課(〒080・8670西5条南7丁目1番地、市庁舎8階、☎65・4192)へ。

◆帯広市緑化審議会委員

帯広市の緑の保全と緑化推進について調査審議を行う委員を募集。定1人

申・問10月31日(火)(消印有効)までに、応募動機や緑化に関する意見を書いた800字以内のレポートとボランティアなどの活動歴を記載した履歴書を、直接または郵送でみどりの課(〒080・8670西5条南7丁目1番地、市庁舎6階、☎65・4186)へ。

臨時保育士・保育業務補助員を募集

市内公立保育所10力所のいずれかに勤務する、臨時保育士と保育業務補助員を募集。資格要件などの詳細は、問い合わせください。申・問10月2日(月)〜31日(火)までに、履歴書と保育士証の写し(臨時保育士のみ)を直接または郵送でこども課(〒080・8670西5条南7丁目1番地、市庁舎3階、☎65・4159)へ。

新たな門出を祝う、平成30年帯広市成人の誓い

市内に住民登録がある人には、12月上旬に案内はがきを郵送しますので、当日持参してください。市内に住民登録がない人でも、当日、運転免許証や学生証など生

年月日を確認できるものを受け付けに提示して参加できます。

対平成9年4月2日〜平成10年4月1日までに生まれた人 日平成30年1月7日(日)、14時〜15時、受け付けは13時から 場市民文化ホール(西5南11) 問青少年課(市庁舎3階、☎65・4162、F23・0155、✉youth@city.obihiro.hokkaido.jp)

◆宣誓者・ボランティア募集

申10月2日(月)〜31日(火)までに、電話またはアクセス、Eメールで青少年課へ。

・「二十歳の誓い」宣誓者

新成人の代表として「二十歳の誓い」を宣誓する人を募集。

対新成人で、当日午前に行うリハーサルから参加可能な人

・成人の集い「運営ボランティア」

当日にボランティアとして、受け付けや会場整理など運営に携わる人を募集。定15人程度

案内

市街化調整区域での建築・土地購入に注意してください

市街化調整区域では、住宅・工場のほか、基礎のない簡易な建物などの建築や農業用倉庫を他の目的に使うなどの用途変更も制限されています。

原野などを宅地に見せかけて売る現状有姿分譲地は、建物の建築が制限されています。土地や建物を購入するときは事前に相談してください。

都市計画区域外であっても、1ヘクタール以上の宅地造成などを行う場合は、許可が必要となるの

で注意してください。

問都市計画課(市庁舎6階、☎65・4179)

国民年金保険料一部免除を受けたときは残りの保険料の納付を忘れずに

経済的な理由などで保険料を納めることが困難なときは、保険料の免除制度があります。このうち4分の3免除、半額免除、4分の1免除は、免除を受けた残りの保険料を納める必要があります。残りの保険料の納付を忘れると、免除が承認されても保険料未納期間になるので注意してください。

問戸籍住民課国民年金係(市庁舎1階、☎65・4143)、帯広年金事務所(西1南1、☎25・8113)

慶事記念樹の手続きが10月末で終了

平成28年中に住宅を新築した人や平成28年度に出生届を提出した人、今年度小学校に入学した人には、慶事記念樹の案内チラシ(水色)を配布しています。受け付けと苗木の引き換えは10月31日(火)までです。なお、配布できる苗木引換券には限りがあるため、希望者は早めに手続きをお願いします。問みどりの課(市庁舎6階、☎65・4186)

療養病床に入院する場合は居住費が変更になります

療養病床入院時生活療養費のうち、居住費が平成29年10月より変更されます(指定難病医療受給者を除く)。医療区分I(厚生労働省の定める一定の基準を満たす者を除く)の居住費が1日当たり320円から370円に、医療区分

II・IIIの居住費が1日当たり0円から200円に変更されます。

問国保課(市庁舎1階、☎65・4138)

プラスチック製容器包装は汚れを落とす「資源ごみ」に

プラスチック製容器包装の一部で「食べ残し」や「汚れ」がついたまま「資源ごみ」の日に出されている場合があります。汚れが付着したものはリサイクルできないばかりか、きれいなものまで汚してしまいます。どうしても汚れが落ちないものは「燃やさないごみ」に出してください。

問清掃事業課(西24北4、☎37・2311)



このような状態ではリサイクルできません

住まいのワンストップ相談窓口をご利用ください

空き家を含めた住まいの売却、相続、管理、リフォームなどに関する相談に、専門家が応じます。相談できる専門家は、弁護士、司法書士、建築士、宅地建物取引士、土地家屋調査士および社会福祉協議会です。

日毎月第2日曜日、第4火曜日、13時〜16時(事前予約制) 場市庁舎、市民文化ホール(西5南11)、とかちプラザ(西4南13) 申・問事前に電話で、建築指導課

(市庁舎6階、☎65・4180)へ。

平成30年4月からの帯広の森はぐくむの指定管理者を募集

平成30年4月以降に帯広の森はぐくむを管理運営する指定管理者を募集しています。募集内容の詳細は、市ホームページで確認するか問い合わせください。募集期限10月30日(月)

問みどりの課(市庁舎6階、☎65・4186)

とかち帯広空港の駐車場混雑予想カレンダーを掲載

市ホームページに、2週間分の駐車場の空き状況が分かるカレンダーを掲載しています。空港利用の際に活用してください。なお、駐車場は混雑が常態化していますので時間に余裕を持ってお越しください。

問空港事務所(泉町西9線、☎64・5320)



帯広市 空港 駐車場 検索

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の市民意見交換会

平成30年度から実施予定の第七期計画策定にあたり、高齢者の健康づくり、福祉、介護保険について多くのご意見をいただくため、意見交換会を開催。時間は1時間半程度。当日直接会場へお越しください。

日10月5日(木)、18時30分〜20時 場市庁舎10階第5B会議室 問高齢者福祉課(市庁舎2階、☎65・4145)

みんなの広場

市以外からの市民向けのお知らせを掲載しています。
12月号掲載の受付締め切りは10月18日(水)です。

問い合わせ 広報広聴課(市庁舎3階、☎65・4109)

問北海道アルバイト情報社(☎0120・855・025)

第27回「公証週間」電話相談

10月1日～7日の公証週間に、遺言、任意後見契約などの公証事務に関する電話相談を行います。
日10月1日(日)～7日(土)、①9時30分～12時、②13時～16時30分
問日本公証人連合会本部(☎03・3502・8239)

プレママわくわくセミナー ハロー赤ちゃん!

産婦人科医、保健師、歯科医の話やコンサートなど、楽しくためになる教室を開催します。
対妊婦または1歳未満の子どもを育児中の人とその家族
日10月14日(土)、13時～15時30分(12時30分から受け付け)
場とかちプラザ(西4南13)
定先着150人
申・問前日までに、電話で母子衛生研究会北海道地区事務局(☎011・233・5977)へ。

第34回「十勝マイナー校」

長谷仁美氏(百年記念館学芸員)をゲストに迎え、「アイヌ文化」をテーマに講演とトークをします。
日10月15日(日)、15時～16時
場とかちプラザ(西4南13)
問北海道シブ・ブリーディング・サービス代表福井(☎42・5195)

星槎国際高等学校 全国移動美術展

全国の星槎国際高等学校の生徒たちが制作した絵画、イラスト、写真などを展示します。
日10月18日(水)、10時～19時、19日(木)、10時～17時
場市民活動交流センター(西2南8、ふじまるビル8階)

問星槎帯広学習センター(☎22・3830)

釧路行政監視行政相談センターからのお知らせ

場市民活動交流センター(西2南8、ふじまるビル8階)
問釧路行政監視行政相談センター(☎0570・090・110)

◆定例行政相談所

役所とのやりとりでの困り事や意見などに行政相談委員が応じます。気軽に相談してください。
日毎月第2木曜日、13時30分～16時
◆1日合同行政相談所
行政機関のほか、弁護士や司法書士も相談に応じます。
日10月17日(火)、10時30分～16時(受け付けは15時30分まで)

中高年求職者向け 合同企業説明会

企業の採用担当者と直接話したり、求職者の心得をテーマにワークショップセミナーを行います。
対おおむね35歳以上の人
日①ワークショップセミナー10月19日(木)、13時～15時、②合同企業説明会10月28日(土)、13時～16時
場①とかちプラザ(西4南13)、②帯広経済センタービル(西3南9)
申・問①のみキャリアバンク中高年求職者安定就業促進事業事務局(☎011・281・7050)へ。

第1回ロービジョンの集い

目が見えにくい人とその家族が、生活での困り事や悩みを気軽に話し合える集いを開催します。
対弱者やその家族、視覚障害に関心のある人
日10月21日(土)、14時～16時
場北海道点字図書館(東2南11)
申・問前日までに、十勝視覚障害者の会・鈴木(☎21・1414)へ。

家事と家計の講習会

家計簿をつけて、お金の使い方を考えてみませんか。日時・会場によって内容が異なります。詳細は問い合わせください。
日10月28日(土)～11月11日(土)、10時～12時など
費前売り400円(当日450円)、託児100円(要予約)
申・問各開催日の前日までに、帯広友の会(☎36・0701、月・水・木・金曜日、10時～15時)へ。

地域に根ざす消費者セミナー

消費者問題に関心のある人、知識を深めたい人向けに、倫理的な消費に関する事などについて学べるセミナーを開催します。
日10月21日(土)、22日(日)、全2回、10時～15時(1日でも受講可)
場とかちプラザ(西4南13)
定先着35人
申・問10月6日(金)までに、氏名、電話番号、ファクス番号を明記し、ファクスで全国消費生活相談員協会北海道支部(☎・F011・622・2725、月・火・木曜日、10時～15時)へ。

帯広リハビリテーション講習会

高次脳機能障害の実態やリハビリに関する講演や、参加者によるグループ討論などを行います。
対障害者と家族、医療・福祉・行政の関係者
日10月28日(土)、13時～17時
場保健福祉センター(東8南13)
問脳外傷友の会コッポックル道東(大通南12、☎24・6974)

家族介護教室「腰痛予防トレーニング&腰痛を予防する介護」

腰痛を予防するためのトレーニング

図書館のオススメ

今月は、各国のナショナルジオグラフィックのカメラマンたちが捉えた“決定的瞬間”を掲載した写真集を紹介します。
▷問 図書館(西2南14、☎22・4700)



『めったに見られない瞬間!』

編著…ナショナルジオグラフィック
編集…スーザン・タイラー・ヒッチコック
発行…二見書房

世界のあちこちで毎日、驚くべき自然現象が起きています。本書は、その瞬間を切り取り、自然界の真実として私たちに伝えてくれる一冊です。
干上がった湖をひとりで動く石、幻の鳥、自然がつくるアート、リンカーン大統領の懐中時計に刻まれた謎の文字…。生命の神秘、不思議な空間、貴重なお宝などのテーマごとに、「めったに見ることができないその瞬間」を堪能できます。

ココから 元気アップ

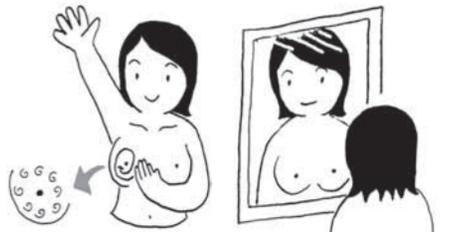
日本人女性の11人に1人*がかかるといわれている乳がん。乳がんから命を守るために、「月に一度の自己検診」と「2年に一度の乳がん検診」をおすすめします。
※国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」最新がん統計(平成28年)
▷問 健康推進課(東8南13、保健福祉センター内、☎25・9721)

👉 触れてチェック

入浴時、せっけんがついた手で触れると乳房の凹凸がよく分かります。また、仰向けに寝た状態でも触ってみましょう。
・4本の指で「の」の字を書くように触る。しこりがないか、一部が硬くないか、脇の下から乳首までチェック。
・乳首から分泌物がでないかを調べる。

👉 鏡の前でチェック

頭の後ろで手を組み、ひきつれ、くぼみなどの変化を確認する。



いずれも、乳房の張りが少ない月経終了後、1週間くらいの間に行うとよいです。閉経後の人は毎月1回、日を決めて行いましょう。

20頁に乳がんの予防啓発活動「ピンクリボン運動」関連の記事掲載

ふるさと 見聞録

写真・文/みどりの課 伊藤 恭平

帯広市の保存樹木 「カシワ」



帯広を150年余り見守るカシワ

帯広市は市内にある「由緒・由来のある木」や「学術的価値の高い木」として10本を、保存樹木に指定しています。中央公園（西3南7）東側には、平成2年9月に帯広市で最初の保存樹木に指定された、推定樹齢150年のカシワの木があります。

中央公園は帯広小学校の跡地に造成されましたが、この木は小学校が建築された時には、すでにそびえ立っていました。その後、小学校のシンボルとして子どもたちと共に成長してきた歴史があり、中央公園が造成された後も唯一残されてきた木でもありません。

カシワは十勝地方を代表する木で、昔はどこにでも見られましたが、今では公園や防風林などの一部に残っている程度です。

カシワの葉は、縁が丸く大きな波状になっていて、秋に枯れた葉は、春に新芽が出るまで落葉しないのが特徴です。「代が途切れない」縁起物として、塩漬けにして柏餅を包むのに用いられます。

ぜひ、まちや人々の営みを途切れることなく見守り続けてきたカシワの老木に触れて、帯広の歴史を感じてみてはいかがでしょうか。

※13頁に関連イベント「保存樹木を巡るバスツアー」の記事掲載

ングや介護方法を体験します。対在宅で介護をしている家族・今後介護をする予定の人

日11月11日(土)、9時30分～11時30分 定先着10人程度

場・申・問前日までに、電話で帯広光南病院・早坂(空港南町303、☎47・4811)へ。

11月期いきいき交流会

市内でひとり暮らしをしている65歳以上の人を対象に、レクリエーションや昼食などで交流します。いずれか1回のみ参加可能。当日会場へ直接お越しください。

日・場いずれも10時～13時ごろ、

▽10月30日(月)、大空会館(大空町12)▽11月1日(水)、啓北コミセン(西13北2)▽6日(月)、緑栄福祉センター(西9南28)、▽8日(水)、南コミセン(西10南34)、▽14日(火)、南町福祉センター(西15南36)▽15日(水)、東コミセン(東7南9)▽17日(金)、緑西コミセン(西17南4)▽21日(火)、栄福祉センター(西17北1)▽22日(水)、西帯広コミセン(西23南2)▽24日(金)、グリーンプラザ(公園東町3)▽27日(月)、大正農業者トレンセン(大正町西1)▽29日(水)、森の里コミセン(西22南4)▽30日(木)、生活館(柏林台東町2)

問帯広市社会福祉協議会(公園東町3、グリーンプラザ内、☎21・2414)

全日本スキー連盟(SAJ)公認 スキーパトロール受検希望者募集

来年2月に留寿都村で開催されるSAJ公認スキーパトロール検定の受検希望者を募集。詳細は問い合わせください。

▽当年度SAJ登録会員で級別テスト1級以上▽赤十字救急員、救急I課程修了、医師、看護師、救命士のいずれかの資格を有する人(赤十字帯広市地区の救急員養成講習会は11月にグリーンプラザで開催)▽受検する年度の4月1日現在、20歳以上

申・問11月30日(木)までに、電話で十勝スキー連盟安全対策部水尻(☎090・1640・6980)へ。

アイヌの皆さんのための専用フリーダイヤルをご利用ください

困り事、嫌がらせ、差別など、何でも相談してください。(☎0120・771・208)

日月々金曜日(年末年始、祝日を除く)、9時～17時

問人権教育啓発推進センター(☎03・5777・1802)

ご存知ですか?労働委員会 の雇用のトラブルまず相談

労働問題に精通した公・労・使の各委員三人一組のあっせん員が、

安心安全メモ

問 安心安全推進課(市庁舎3階、☎65・4131)

盗難を防ぐには鍵のつけ方も大事

高額なツーリング自転車などが狙われる盗難が急増しています!

市内の自転車盗難被害件数	平成29年度(7月まで)	平成28年度
施錠あり	55件	31件
施錠なし	43件	54件
計	98件	85件

ツーロックと比較して、ワンロックや施錠をしていない場合は盗難に遭いやすくなります。次の盗難防止策を心掛けましょう。

《盗難防止策》

- 異なる鍵を二つ以上使ってロックする(地面に固定されているものと自転車のフレームをロックする)
- 自転車を離れる場合は、短時間でも鍵をする(コンビニなどに停める場合でも、必ず鍵をする)
- 駐輪場所を選ぶ(人けの少ないところには駐輪しない)



労働者個人と使用者間の労働問題について助言などを行い、解決を目指します。秘密厳守。

問▽一般の労働相談は、道の「労働相談ホットライン」(☎012011・204・5667)

0・81・6105、月々金曜日、17時～20時、土曜日、13時～16時)▽あっせん窓口、問い合わせは北海道労働委員会事務局調整課(☎

情報 ピックアップ



10月は乳がん月間です



問い合わせ 健康推進課 (東8南13、保健福祉センター内、☎25・9721)

乳がんから命を守る

乳がんは、女性がかかるがんのうち、最も多いがんです。しかし、早期に発見し、治療をすれば、9割以上の人が治るがんともいわれています。

「乳がんへの備え」に向けた取り組みを実施

乳がんの予防啓発活動は「ピンクリボン運動」として広まり、帯広市も昨年度から「ピンクリボンinおびひろ」としてキャンペーン活動を始めています。

市は、「万が一、かかるかもしれない乳がんへの備え」を、一人でも多くの人が実践することを目指しています。この機会に、自身や大切な人を守るため、取り組みに参加しませんか。

「備え」を実践するためのパネル展示&体験

いずれも予約不要で、参加無料。

▽パネル展

日時 10月25日(水)～29日(日)、10時～20時(土・日曜日は18時まで)

▽乳がん自己検診体験

触診モデルを使って、しこりを見つける方法を体験。

日時 10月29日(日)、10時～16時

18頁「ここから元気アップ」コーナーで、自己検診の方法を紹介しています。



自宅でも自己検診をしてみましょう

日曜日に乳がん検診が受けられます

事前の申し込みが必要です。先着順ですので早めに申し込みください。

日時 10月15日(日) 8時30分～13時30分

場所 保健福祉センター (東8南13)

対象 40歳以上の女性で、偶数年齢(平成30年3月31日現在)の市民

料金 40歳代：2100円
50歳以上：1750円

※保険証の種類などで無料となる場合があります。詳細は健康推進課へ問い合わせください。

申し込み 北海道対がん協会帯広出張所(☎27・2345)へ。

オビヒロカメラレポート obihiro camera report

おびひろ平原まつり 70周年



今年で70回目を迎えた十勝最大の夏祭り「おびひろ平原まつり」が開催されました。恒例のおびひろ盆おどりや平原・太鼓まつりのほか、周年を記念した小学生の競技大会「平原まつりんピック」などが行われ、4日間の来場者数は、昨年を5万4000人上回る約20万1000人となりました。おなじみの「北の大地de大道芸フェスティバル」では、国内外で活躍する大道芸人のパフォーマンスが繰り広げられ、多彩な技で観客を魅了しました。(8月13日～16日、平原通り7丁目～11丁目、広小路、夢の北広場)



踊り手の熱気に包まれた盆おどり



JRAジョッキーDAY

ばんえい競馬を応援しようと、JRA(日本中央競馬会)所属の人気騎手11人が帯広競馬場に駆け付け、ばんえい競馬のレースの合間に、トークショーや模擬レースなど、各種ファンサービスを行いました。人気騎手を一目見ようと、普段は帯広競馬場を訪れる機会の少ない人など、2200人を超えるお客様が来場し、盛り上がりました。(8月21日、帯広競馬場)



ミュージシャンの野外ライブ

JR帯広駅周辺で開催された、十勝最大の食と音楽の催し「とがちマルシェ」。7回目となる今年は、過去最多の約9万8000人が来場しました。会場には十勝の食をテーマにした130のさまざまな店が並んだほか、ステージではミュージシャンらが演奏を披露し、来場者は音楽と料理を楽しみました。(9月1日～3日、JR帯広駅周辺)

市政のお知らせを放送しています

◆テレビ 市役所だより(OCTV 11ch) 毎日4回放送していて、市ホームページからもご覧になれます。

◆ラジオ 毎週月・水・金曜日 おびひろタウンインフォメーション (FM-JAGA77.8MHz) 9:15～9:20 おびひろ広報メモ (FM-WING76.1MHz) 9:30～9:35

広報おびひろの感想を聞かせてください

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。問広報広聴課 (市庁舎3階、☎65・4109、F23・0156、✉report@city.obihiro.hokkaido.jp)